

GoogleWorkspace実践講座

児童生徒によるGoogleWorkspace の授業での活用

2024.07.17

龍野東中学校 教頭 杉山誠人



龍野東中学校
ホームページ

自己紹介

たつの市立龍野東中学校
教頭 杉山誠人



本日の資料

こちら
からど
うぞ



左側が無
理な方用

お手数をおかけしますが、こちらから資料をご覧ください。

<https://meet.google.com/vgy-hooh-mhd>

<https://higashichu.tatsuno.ed.jp/googleworkspace>

目次

第1部

- ①育成したい資質・能力
- ②何に基づいて？
- ③見据える未来
- ④誰が見据えている？
- ⑤国際調査

第2部

- ①現状の課題
- ②教育を取り巻く環境の変化
- ③授業改革
- ④こう変わっている最中
- ⑤2030年に向けて大改革中の10年

第3部

- ①しておかないといけない事
 - ・授業改革
- ②その為にしておかないといけない事
 - ・DX
 - ・生徒職員研修
- ③効率よく改革する為に必要な事
 - ・職場改善
 - ・業務改善
 - ・校則改正

第1部 現教育についての確認



0
1

- ①育成したい資質・能力
- ②何に基づいて？
- ③見据える未来
- ④誰が見据えている？
- ⑤国際調査



0
2



0
3

ビジョンの共有：

GIGAや**DX**

事の発端は何だったで
しょうか？



発言はChatかQRか近
くの方と



新学習指導要領 実施

2017年 周知徹底

- 1 小学校は令和2年（2020年）度
- 2 中学校は令和3年（2021年）度
- 3 高等学校は令和4年（2022年）度



発言はChatかQRか近
くの方と

ビジョンの共有：

学習指導要領

育成したい資質・能力
は何でしょうか？



育成したい資質・能力

- 1 知識や技能
- 2 思考力、判断力、表現力など
- 3 学びに向かう力、人間性など

ビジョンの共有：

資質・能力

具体的にはどのような
力の育成でしょうか？



発言はChatかQRか近
くの方と

具体的には？

- 主体性や自律性に関わる力
- 対人関係能力
- 課題解決力
- 情報活用能力
- グローバル化に対応する力
- 持続可能な社会づくりに関わる実践力
- リーダーシップ
- 企画力や創造力
- 意欲や志
- 人としての思いやりや優しさ、感性などの人間性等

これらは何に基づ
いて設定されてい
るのでしょうか？



c 発言はChatかQRか
近くの方と



『見据える未来』に基づいて設定

未来の社会は、
複雑化し、
グローバル化が進み、
絶えず変化する社会
です。

VUCA（ブーカ）

Volatility（変動性）

Uncertainty（不確実性）

Complexity（複雑性）

Ambiguity（曖昧性）



発言はChatかQRか近くの方と

誰が見据えた未来で
しょうか？



誰が見据えた未来なのか？

01 | OECD

(Organisation for Economic Co-operation and Development : 経済協力開発機構)

OECDは、欧米諸国、アメリカ、日本などを含む38か国（2022年9月時点）の加盟国によって構成されており、「**世界最大のシンクタンク**」として様々な分野における政策調整・協力、意見交換などを行っています。

文部科学省は、教育・科学技術分野における諸活動に参加・協力しています。



誰が見据えた未来なのか？

02 | IEA

(The International Association for the Evaluation of Educational Achievement : 国際教育到達度評価学会)

国際教育到達度評価学会（IEA）は、小・中学生を対象とした国際比較教育調査を行う学会です。文化・社会・経済など異なる背景を持つ各国における教育条件と学習到達度との関係を研究することを目的としており、必ずしも到達度そのものの優劣を比較する意図はありません。



現状と未来を見据えた 国際調査



国際調査

PISA (Programme for International Student Assessment) : PISA(**OECD**生徒の学習到達度調査)は、15歳を対象に3年ごとに実施される国際的な学力調査です。

TIMSS (Trends in International Mathematics and Science Study) : **IEA** (国際教育到達度評価学会) が実施する、算数・数学と理科の学力調査。小学校4年生と中学校2年生を対象としています。

PIRLS (Progress in International Reading Literacy Study) : **IEA**が実施する、小学校4年生を対象とした読解力の学力調査。

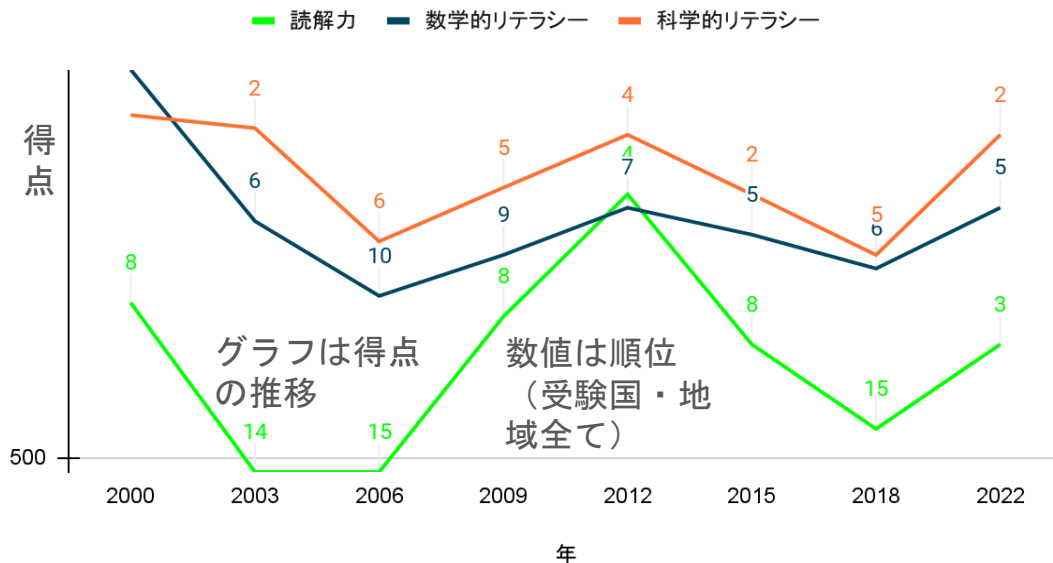
TALIS (Teaching and Learning International Survey) : **OECD**が実施する、教員の指導環境や学習環境に関する調査。

PISA

PISA2022で日本が**好結果**を出した要因は複数考えられます。

- ・ 読解力向上への継続的な取り組み
- ・ ICT環境の整備と活用
- ・ 学習指導要領の改訂
- ・ 新学習指導要領で重視された「主体的・対話的で深い学び」

PISA 日本の結果推移



PISA2022のポイント

国立教育政策研究所OECD生徒の学習到達度調査2022年調査

(PISA2022) のポイント

自律学習を行う自信

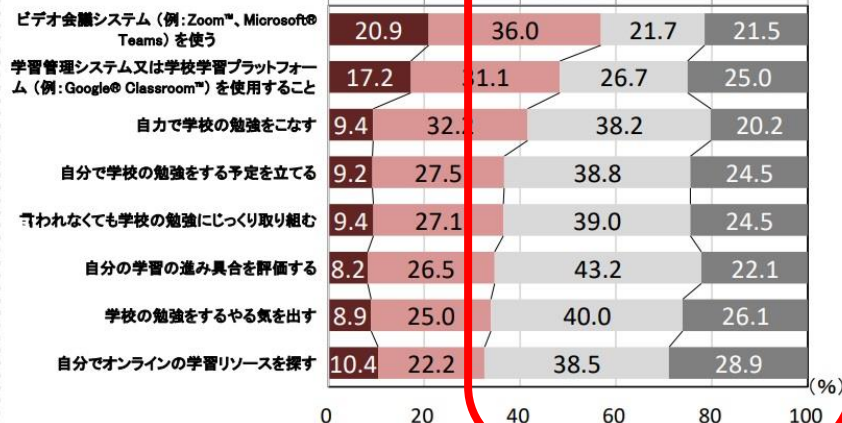
しかしながら

○学校が再び休校になった場合に自律学習を行う自信があるか、という質問に対する回答で、自信がないと回答した生徒が日本は非常に多かった。

生徒質問調査 問61 自律学習と自己効力感（日本）

「今後、あなたの学校が再び休校した場合、以下のことを行う自信はどれほどありますか。」

■ とても自信がある ■ 自信がある ■ あまり自信がない ■ 全然自信がない



「自律学習と自己効力感」指標

左の8項目の回答割合から指標値を算出。

OECD平均	0.01
34位 日本	-0.68

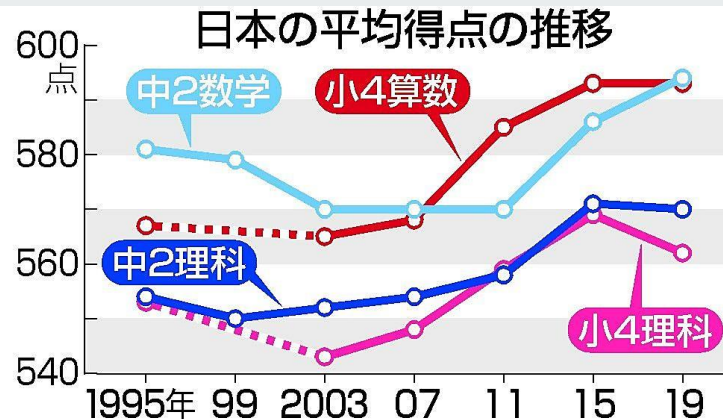
※OECD加盟国37か国の平均値が0.0、標準偏差が1.0となるよう標準化されており、その値が大きいほど、自律学習に対する自己効力感（自信）が高いことを意味している。

○感染症の流行・災害の発生といった非常時のみならず、変化の激しい社会を生きていく子供達が普段から自律的に学んでいくことができるような経験を重ねることは重要であり、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進により、自ら思考し、判断・表現する機会を充実したり、児童生徒一人一人の学習進度や興味・関心等に応じて教材や学ぶ方法等を選択できるような環境を整えたりするなど、自立した学習者の育成に向けた取組を進めていく必要がある。

TIMSS

TIMSS2023の結果はもうすぐ。
次回は2027。

図は2019年の結果。



(国際数学・理科教育動向調査より。99年の小4調査は行われていない)

国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2019)における成績

小学校 算数	
国／地域(58)	平均得点
シンガポール	625 点
香港	602
韓国	600
台湾	599
日本	593
ロシア	567
北アイルランド	566
イングランド	556
アイルランド	548
ラトビア	546

小学校 理科	
国／地域(58)	平均得点
シンガポール	595 点
韓国	588
ロシア	567
日本	562
台湾	558
フィンランド	555
ラトビア	542
ノルウェー	539
アメリカ	539
リトアニア	538

中学校 数学	
国／地域(39)	平均得点
シンガポール	616 点
台湾	612
韓国	607
日本	594
香港	578
ロシア	543
アイルランド	524
リトアニア	520
イスラエル	519
オーストラリア	517

中学校 理科	
国／地域(39)	平均得点
シンガポール	608 点
台湾	574
日本	570
韓国	561
ロシア	543
フィンランド	543
リトアニア	534
ハンガリー	530
オーストラリア	528
アイルランド	523

TIMSS2019のポイント

出所：文部科学省 国立教育政策研究所
I E A 国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)

【数学】

- ◎ 小学校、中学校ともに、算数・数学の「勉強は楽しい」「得意だ」と答えた児童生徒の割合は増加しているが、国際平均より下回っている。
- ◎ 中学校において、「数学を勉強すると、日常生活に役立つ」「数学を使うことが含まれる職業につきたい」と答えた生徒の割合は、国際平均より下回っている。

【理科】

- ◎ 小学校において、理科の「勉強は楽しい・得意だ」と答えた児童の割合は増加しており、引き続き、国際平均より上回っている。
- ◎ 中学校において、「理科を勉強すると、日常生活に役立つ」「理科を使うことが含まれる職業につきたい」と答えた生徒の割合は、前回調査より増加しているが、国際平均より下回っている。

TALIS



TALISは、PISAやTIMSSとは異なり、生徒の学力ではなく、教員や学校の状況に焦点を当てた調査です。教員の労働環境や学校文化が、生徒の学習成果にどのように影響するかを明らかにすることを目指しています。

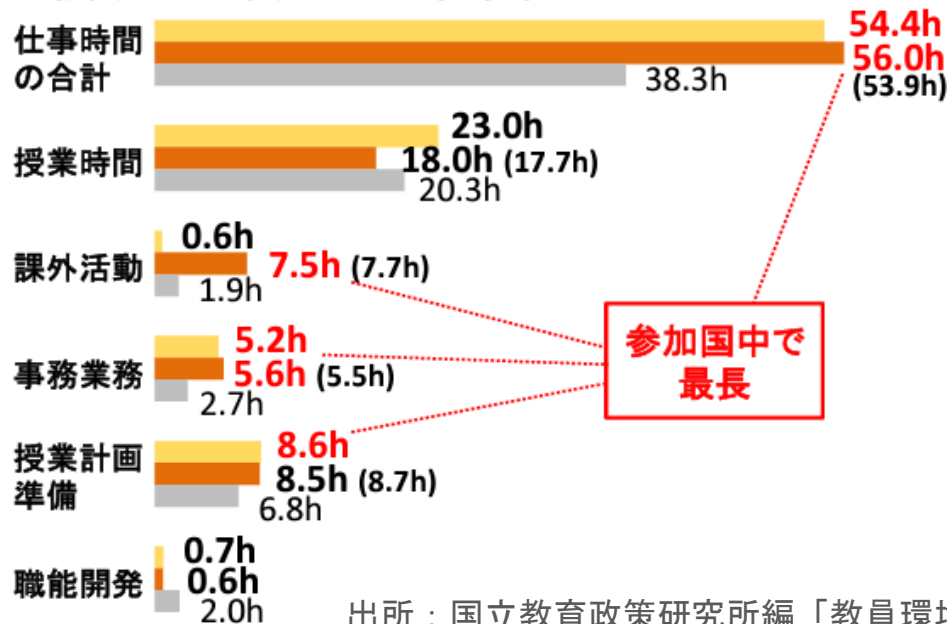
結果の推移 **2018年**のTALISにおける日本の結果は、以下の点が特徴的でした。

ポジティブな側面:

規律と学習の雰囲気: **学級の規律が良く**、学習に集中できる環境が整っている。
協調的な学校文化: **教員同士の協力体制**があり、新しいアイデアの実践において互いにサポートし合っている。

TALIS2018のポイント

<教員の1週間あたりの仕事時間>



出所：国立教育政策研究所編「教員環境の国際比較：OECD国際教員指導環境調査（TALIS）2018報告書

ネガティブな側面:

- ◎職能開発時間: 職能開発に費やす時間が国際的に見て短い。
- ◎仕事時間の増加: 特に中学校教員の仕事時間が、前回調査と比較して増加している。
- ◎校長職における男女比の偏り: 中学校の女性校長の割合が参加国中、最も低い。

これらの結果から、日本の教育現場では、教員の多忙化やジェンダーバランスの改善といった課題があることが浮き彫りになりました。



見据えた未来が現実

先程のスライド

『見据える未来』に基づいて設定

未来の社会は、
複雑化し、
グローバル化が進み、
絶えず変化する社会
です。

VUCA（ブーカ）

Volatility（変動性）
Uncertainty（不確実性）
Complexity（複雑性）
Ambiguity（曖昧性）

教育を取り巻く環境の変化

①人口減少・少子高齢化

- ・ 2050年に約1億人
- ・ 2050年に生産年齢人口比率約5割
- ・ 2021年調査一人当たり労働生産性、OECDで下位
- ・ この20年で三世代同居の割合半減
⇒生産性の向上必須
- ・ 核家族、ひとり親世帯増加
⇒「他者との協働が減少」
⇒学校の相対的役割が大きい

OECD 加盟
38 力国中
30 位(2022年)

教育を取り巻く環境の変化

②グローバル化

- ・ 在留外国人 22年末に307万強（過去最高）
- ・ 訪日外国人旅行者数増加 日本人出国者は均一
- ・ 働き手である15歳～64歳の人口が減少していくことから、働き手を補充するため、補充外国人労働者の雇用が増加



【出典】人口は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」、外国人労働者は厚生労働省、2030年の外国人労働者の予測は日本総研による

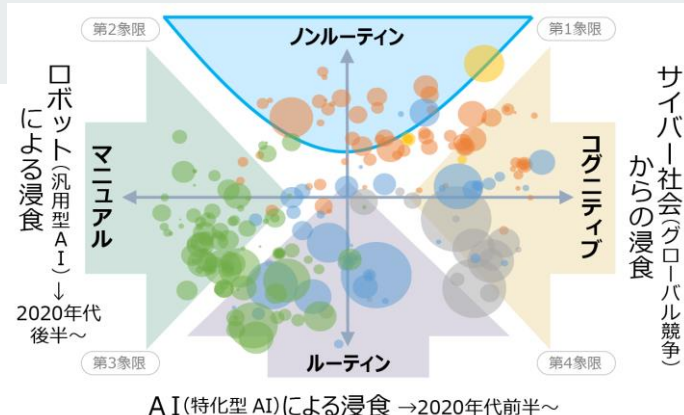
教育を取り巻く環境の変化

③デジタル化（Society5.0）

- ・ 仮想空間と現実空間の高度な融合。
社会のあらゆるところにデジタル技術。
よき創り手、よき使い手を育てる必要。
- ・ デジタライゼーション（2つの影響）
 - ・ ①ルーティンタスクからノンルーティンタスクが増加。
（ルーティンタスクはAIが行うようになる）
 - ・ ②ICTの使う仕事の増加

⇒ 2つの影響をかけ合わせると、ICTを使ったノンルーティンタスク。

- ・ 日本のデジタル競争力は29位。
- ・ 人材のスコア、デジタルスキルのスコアが低い。



出所：三菱総合研究所

教育を取り巻く環境の変化

④人生100年時代

- ・ 日本は世界一の健康寿命
- ・ 変化の激しい時代×人生100年時代
働く期間が長くなる。マルチステージの時代へ。

生涯学び続ける
必要性

①「3ステージ」から「マルチ・ステージ」へ

LIFE SHIFT JAPAN

■「3ステージ」モデル



■「マルチ・ステージ」モデル



LIFE SHIFT JAPAN

© 2020 LIFE SHIFT JAPAN, Inc.

出所：Life Shift Japan

第2部

- ①現状の課題
- ②教育を取り巻く環境の変化
- ③授業改革
- ④こう変わっている最中
- ⑤2030年に向けて大改革中の10年





激動の時代真っ只中ですが
学校現場の現状に注目しましょ
う

子どもたちの
授業理解度は
どのくらいだと
思いますか？



発言はChatかQRか近
くの方と



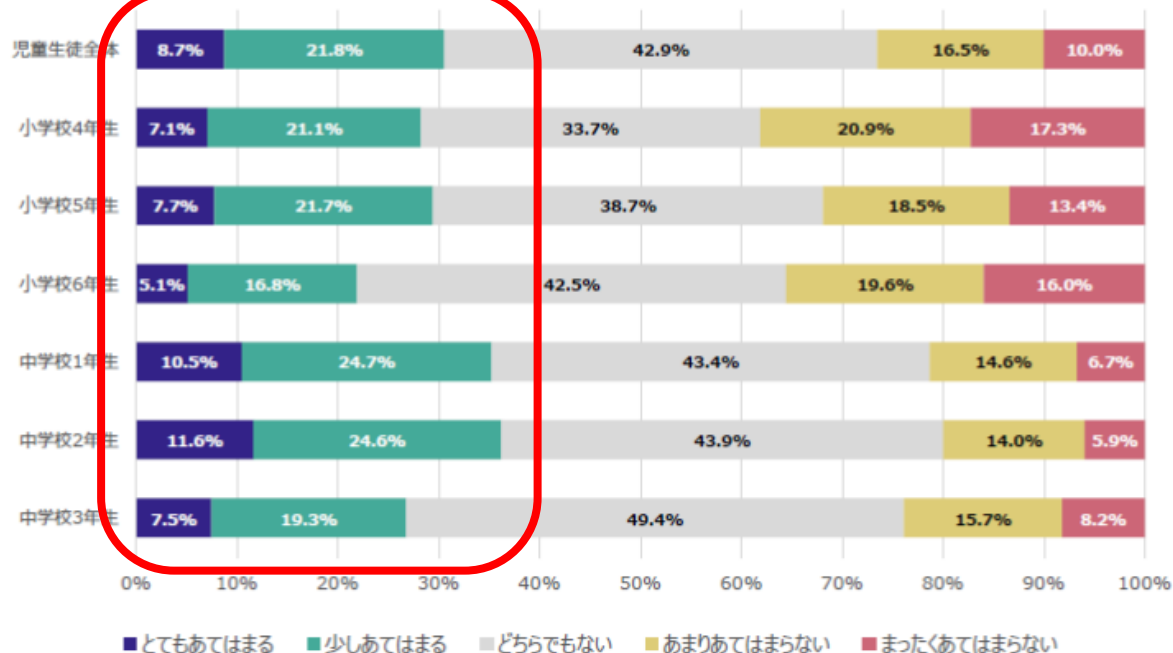
子どもたちは授業に対してこう
感じています

授業の内容が難しすぎると思う

✓ 約3割の児童生徒が、授業の内容が難しすぎると感じている。

(1) あなたが普段学校で受けている授業に関して思うことについて、それぞれあてはまるものを1つ選んでください。

(授業の内容が難しすぎると思う)



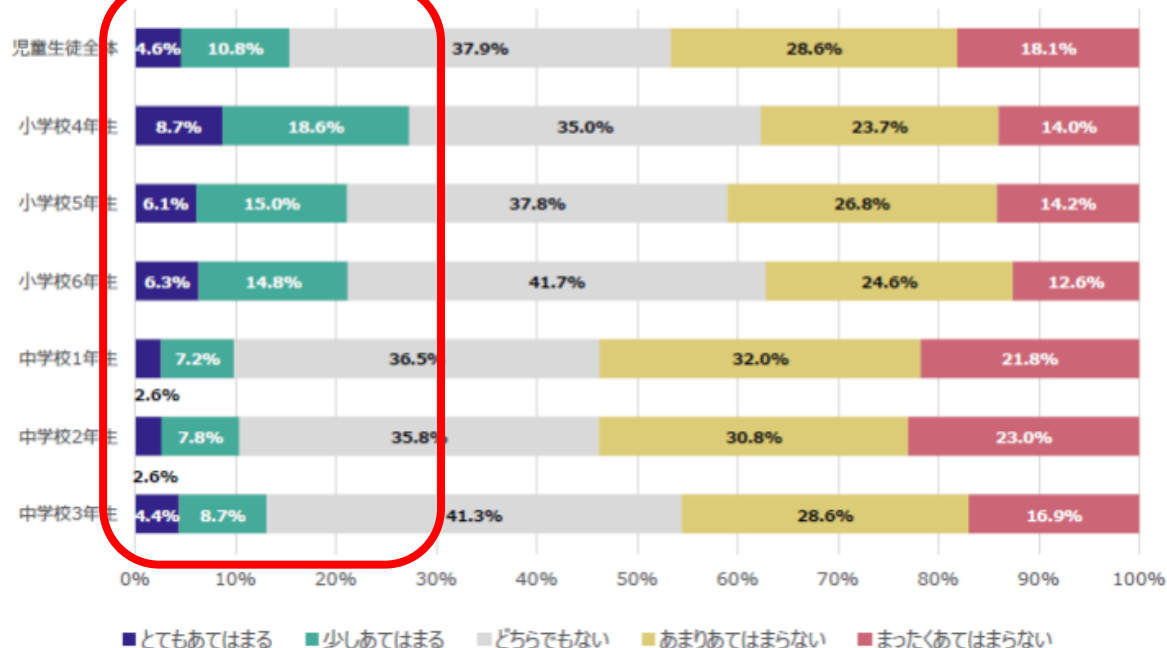
授業の
内容が
難し
すぎる！

授業の内容が簡単すぎると思う

✓ 授業の内容が簡単すぎると感じている児童生徒は2割未満である。

(1) あなたが普段学校で受けている授業に関して思うことについて、それぞれあてはまるものを1つ選んでください。

(授業の内容が簡単すぎると思う)



授業の
内容が
簡単
すぎる！

現状の課題① 学習におけるデータをまとめると

①理解度や学力もバラバラ (A・C層が置き去り) 小4～6

A層 簡単すぎる 23.2%

B層

C層 難しすぎる 26.5%

49.7%
が置き去り

②理解度や学力もバラバラ (A・C層が置き去り) 中1～3

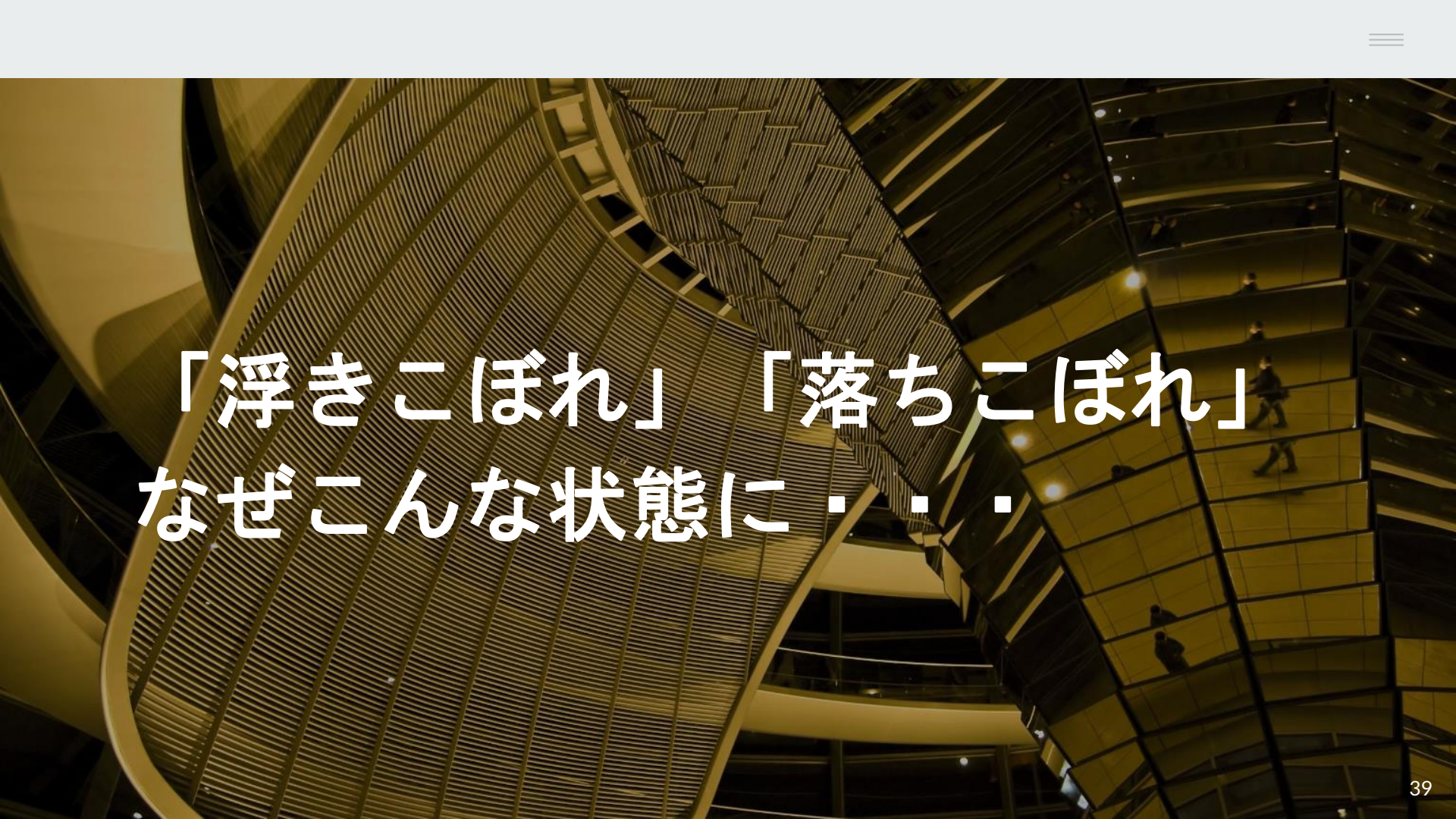
A層 簡単すぎる 11.1%

B層

C層 難しすぎる 32.8%

43.9%
が置き去り

* 一斉授業ではB層に合わせた授業をせざるを得ない



「浮きこぼれ」「落ちこぼれ」
なぜこんな状態に・・・



と思いつつ、
教壇に立つ先生方は分かっていますよね

現状の課題② 多様化 さらに深刻

小・35人学級の多様性

特異な才能のある子ども2.3% 発達障害の可能性のある子ども10.4%

不登校1.7% 不登校傾向11.8%

家にある本の冊数が少なく学力の低い傾向が見られる子ども32.9%

日本語を家であまり話さない子ども2.9%

中・40人学級の多様性

特異な才能のある子ども2.3% 発達障害の可能性のある子ども5.6%

不登校6.0% 不登校傾向10.2%

家にある本の冊数が少なく学力の低い傾向が見られる子ども34.8%

日本語を家であまり話さない子ども3.2%

発達障害の可能性のある子供 (学習面or行動面で著しい困難を示す)

発達障害^{※1}
2.7人
(7.7%)

- ・ ADHD(注意欠如多動性障害)
いつもそわそわして、じっと座ってられない。いろいろなものに気が散り、授業に集中できない。
- ・ LD(学習障害、読字障害)
文字が流暢に読めなかったり、板書に時間がかったりして、授業の進度に合わせられない。
- ・ ASD(自閉症スペクトラム)
学習活動の見通しが持てないと不安になる。暗黙のルールがわからず、突然発言してしまう。

特異な才能のある子供

授業が暇で苦痛。価値観や感じ方の共感も得られなくて孤独。発言すると授業の雰囲気壊してしまう。

特異な才能のある子供^{※2}
0.8人
(2.3%)

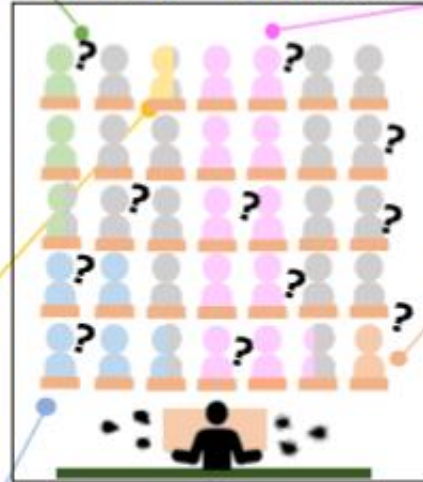
小3から中学数学、小5で数ⅡBをやっていた。
4歳のころ進化論を理解して、8歳で量子力学や相対性理論を理解していた。

不登校・不登校傾向の子供

不登校^{※3}
0.4人
(1.0%)

不登校傾向^{※4}
4.1人
(11.8%)

小学校 35人学級



※例示している特性が複合しているケースも多い。
※特性として示している子供についても、状況にはグラデーションがあり、様々であること。
※このほかにも、学校には、病気療養で学校に通えない子供やいわゆるヤングケアラー等、多様な背景や困難を抱える子供が存在している

家にある本が少ない子供^{※5}
10.4人
(29.8%)

家庭の文化資本の違い

家にある本の冊数が少なく
学力の低い傾向が見られる子供

※家にある本の冊数と正答率の間には相関
家に本が10冊又は25冊と答えた割合



家で日本語をあまり話さない子供^{※6}
1.0人
(2.9%)

家で日本語を話す頻度の違い

家で日本語を「いつも話している」子供と「全く話さない」子供の間には、正答率に差が見られる
※家で日本語を「全く話さない」「ときどき話す」と答えた割合

子供たちの特性や関心・意欲は様々

話すこと・聞くこと
書くこと・読むこと
が得意な子供

文字情報・
音映像などの情報の扱いが得意な子供

音やダンスで表現することが得意な子供

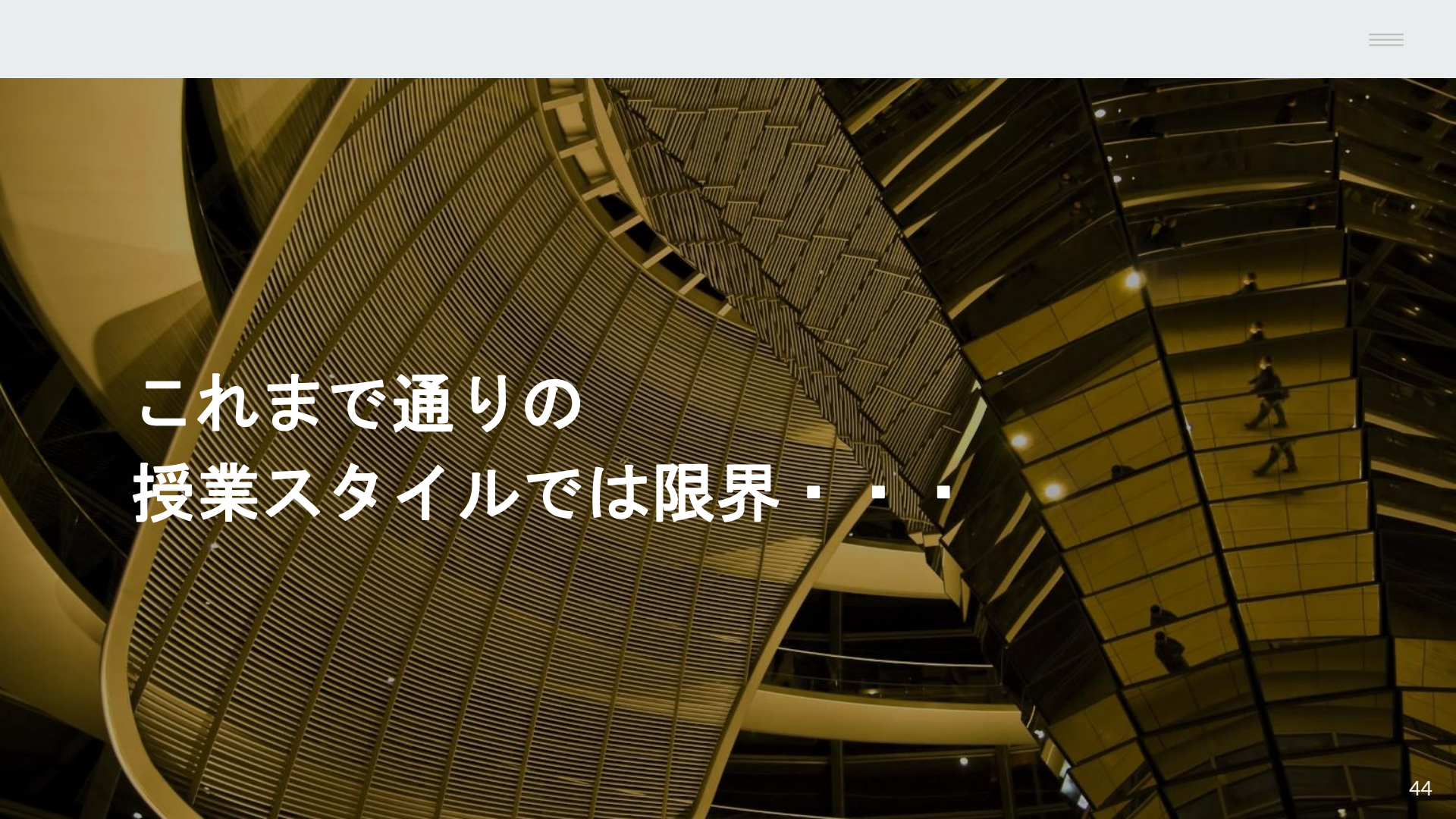
特定の分野に極めて高い集中力を示す子供

興味や関心が拡散しやすい子供

特定の分野などに
関心・意欲や知的好奇心が旺盛な子供



現状の課題から「これまで通り」で
「誰ひとり取り残さない」は可能な
か？



これまで通りの
授業スタイルでは限界・ ・ ・

「現状の課題」だけでなく「環境の変化」も

だから授業改革

授業のスタイルが変わりました

あなたの学校は
「一斉授業」から
授業のスタイルが
変わりましたか？



発言はChatかQRか近
くの方と



授業改革

01

- 個別最適な学び
指導の個別化
学習の個性化
- 協働的な学び

2017年周知 2020年～実施

 一体的に充実



授業改革

02

- 主体的な学び
- 対話的な学び
- 深い学び

 資質・能力の育成



授業改革

変化の激しい社会において、
子どもたちが困難を乗り越え、
未来に向けて進む希望や力を身につける

授業は変わりました

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

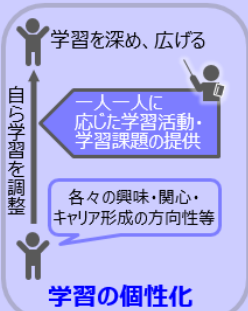
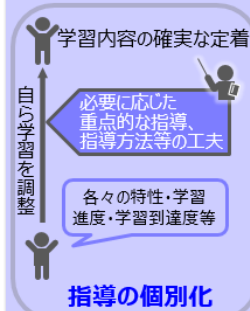
学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達支援

授業改善

資質・能力の育成

一体的に
充実

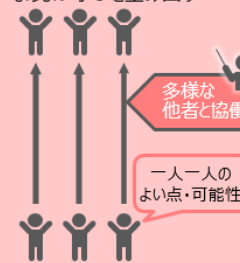
授業外の
学習の改善



個別最適な学び（教師視点では「個に応じた指導」）

修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視
の考え方を生かす

異なる考え方が組み合わせり
よりよい学びを生み出す



協働的な学び

クラスメイト

異学年・他校の子供

地域の人

専門家

等

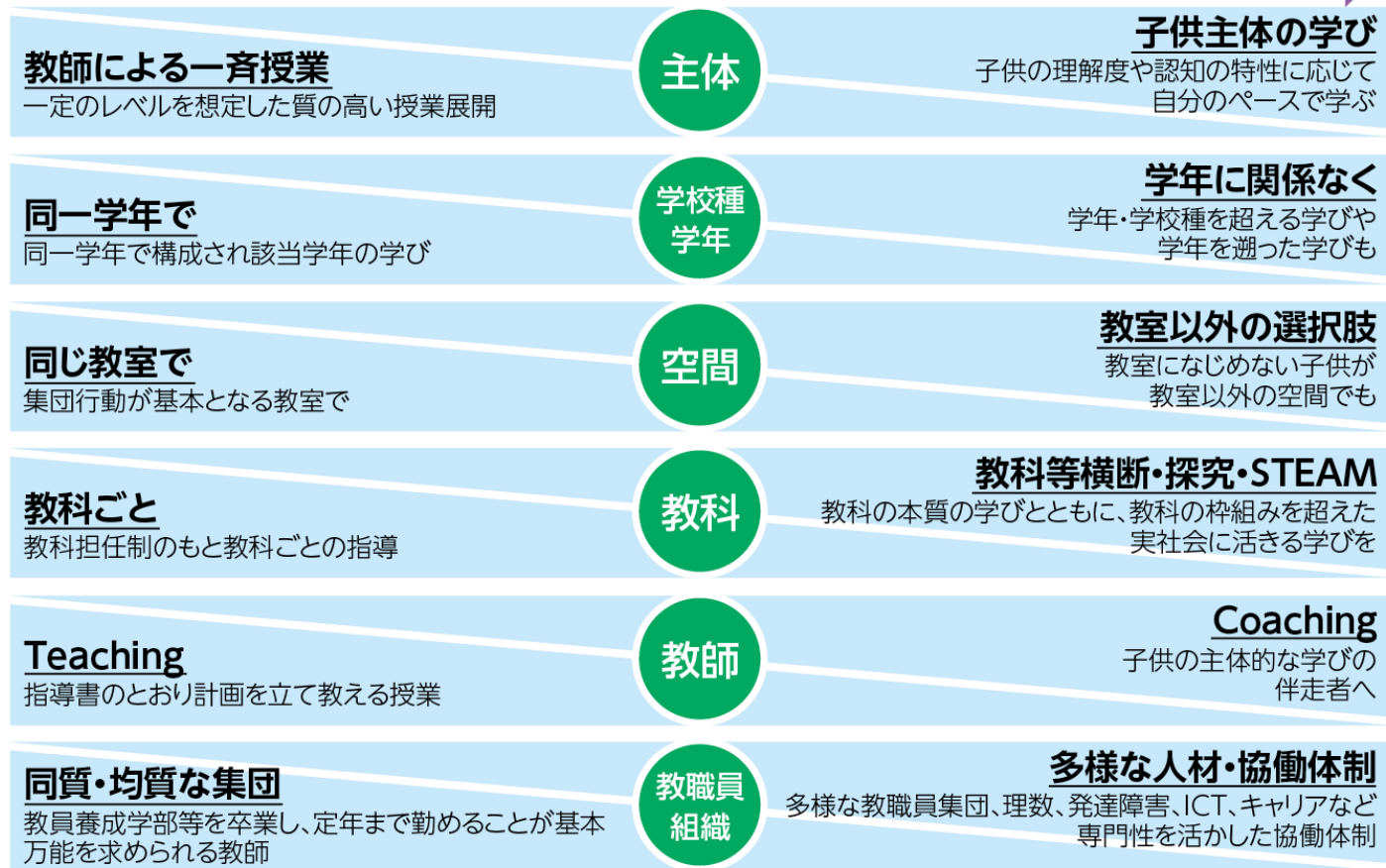
これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

・集団に対して共通に教育を行う ・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

属修主義
の考え方を生かす

2030年 に向けて 大改革の 10年

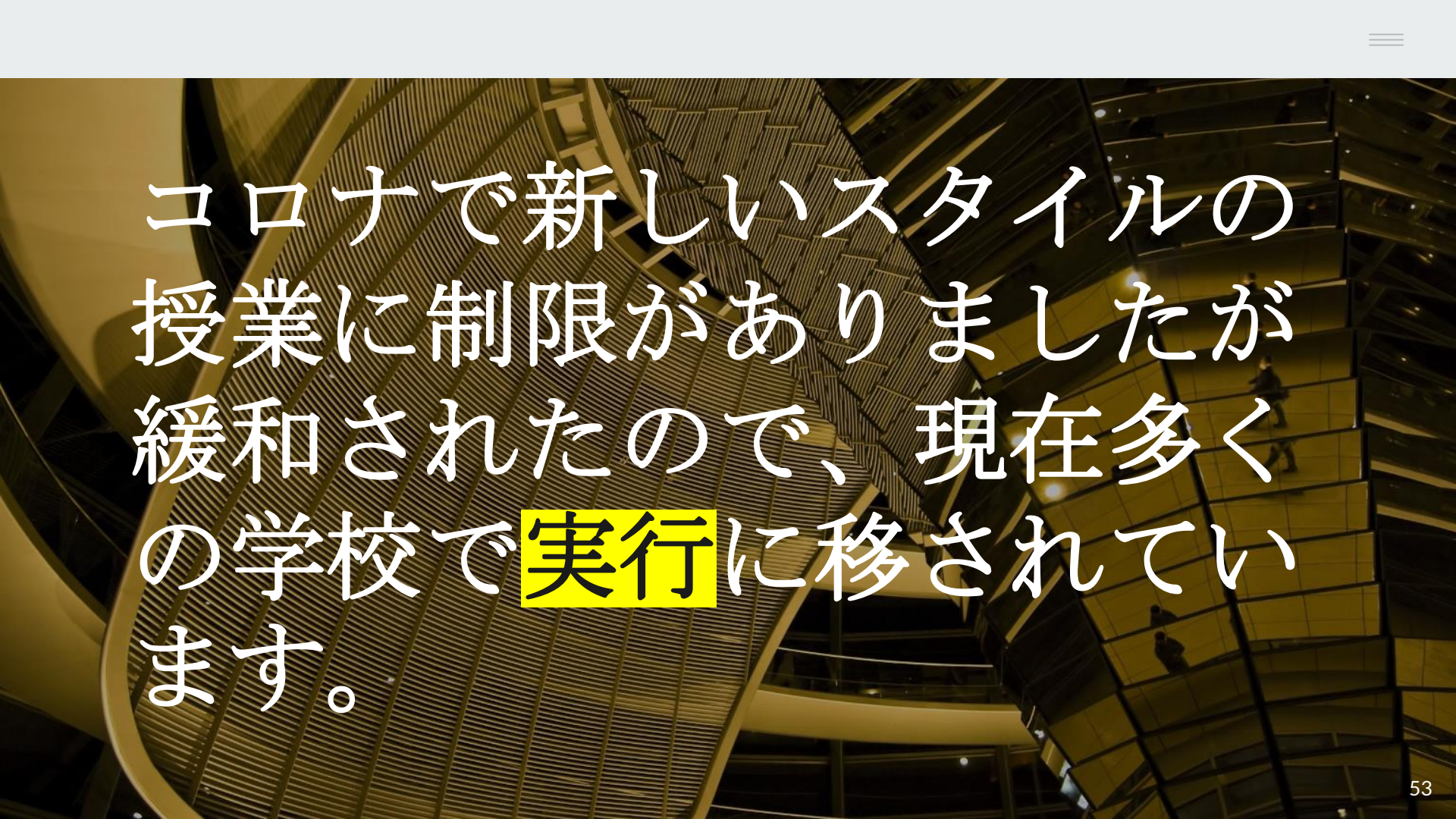




新学習指導要領

しかし2020年1月～
2023年4月は...

- 1 小学校は令和2年（2020年）度
- 2 中学校は令和3年（2021年）度
- 3 高等学校は令和4年（2022年）度



コロナで新しいスタイルの
授業に制限がありましたが
緩和されたので、現在多く
の学校で**実行**に移されてい
ます。

第3部 具体的な取り組み



①具体的にしておかないといけない事

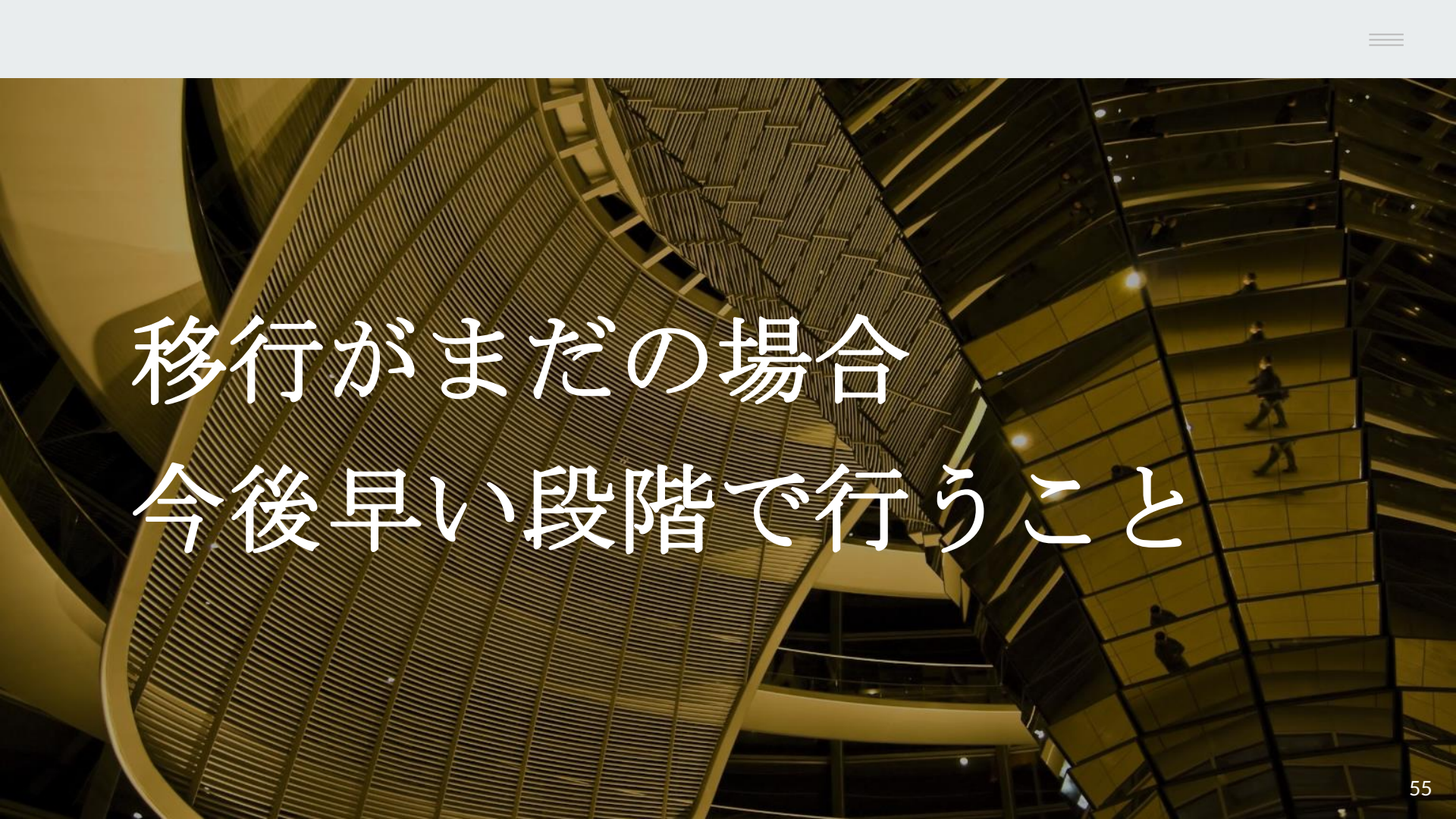
- ・授業改革

②その為にしておかないといけない事

- ・dx
- ・生徒、職員研修

③効率よく改革する為に必要な事

- ・職場改善
- ・業務改善
- ・校則改正



移行がまだの場合
今後早い段階で行うこと

授業改革

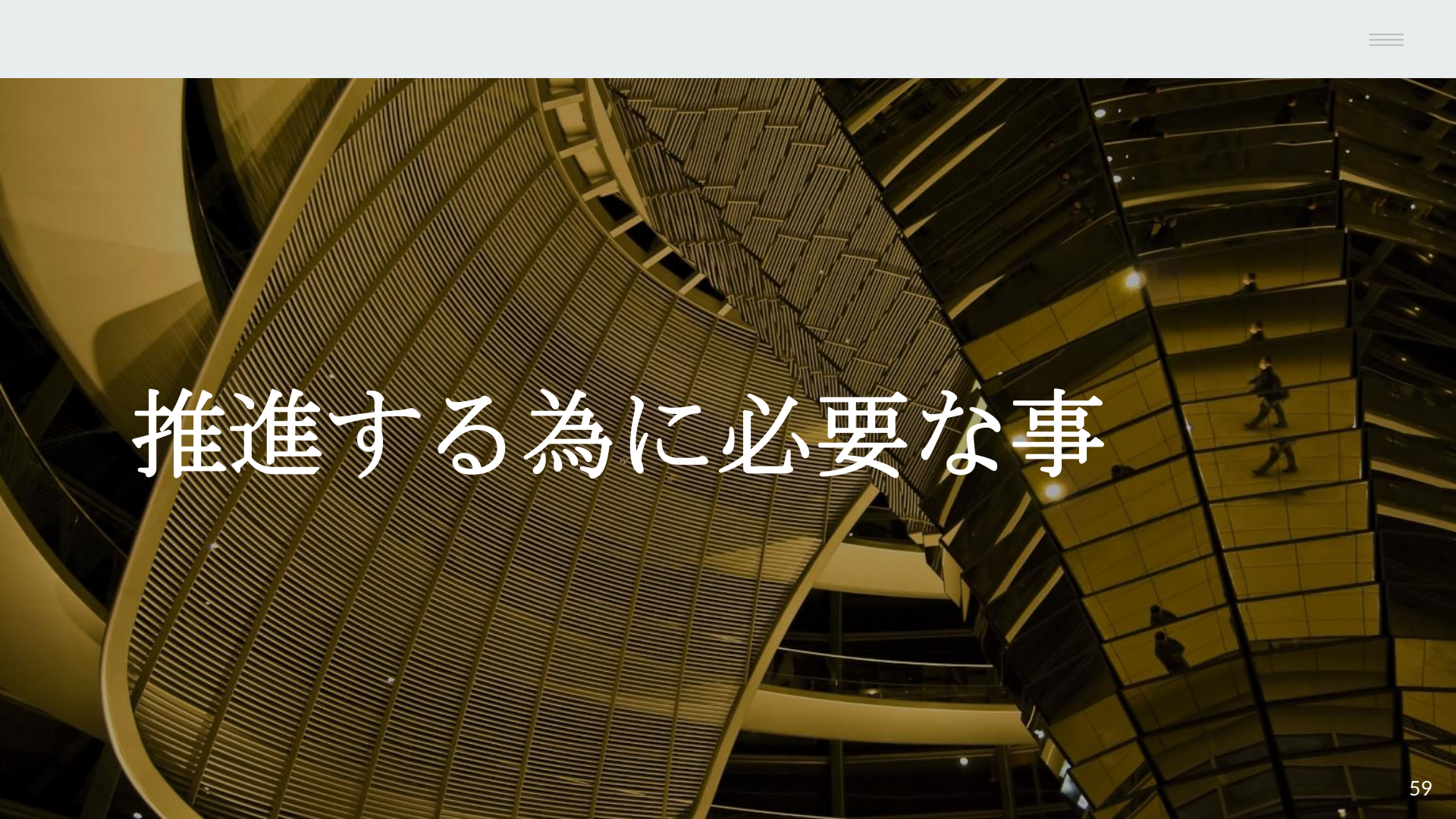




そのために学校として、
しなければならないこと

- DX
- 研修





推進する為に必要な事

- 職場改善
- 業務改善
- 生徒満足度改善



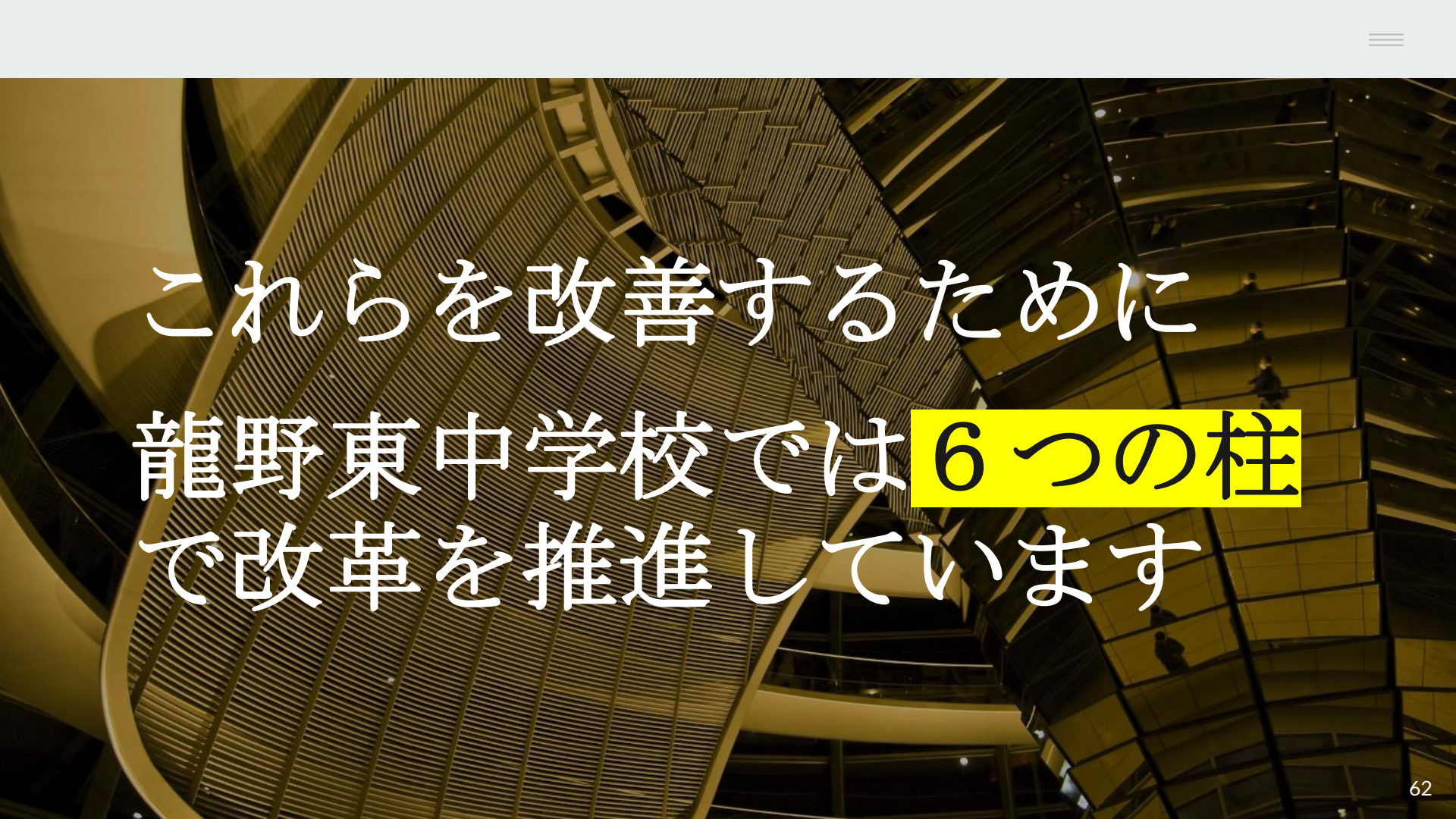
チーム学校

改善のためには
組織的な
取り組みが必須

チームとしての学校

- ・ 多様な専門人材が責任を伴って学校に参画し、教員はより教育指導や生徒指導に注力
- ・ 学校のマネジメントが組織的に行われる体制
- ・ チームとしての学校と地域の連携・協働を強化





これらを改善するために
龍野東中学校では**6つの柱**
で改革を推進しています

①學習指導

②情報教育

③生活指導,教育相談



- ④小中一貫
- ⑤職員研修
- ⑥学校業務改善



やっと本題
前振り長くてすみません
①学習指導の抜粋

授業改革

子どもたちのために
より良いものに変える
取り組み

①学習指導の続きや
②～⑥については資料で。
またはリーディング**DX**
公開授業やセミナーにて。



授業改革

01

- 個別最適な学び
指導の個別化
学習の個性化
- 協働的な学び

 一体的に充実

個別最適な学び

・学習の個性化

基礎的・基本的な知識・技能等や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力等を土台として、幼児期からの様々な場を通じての体験活動から得た子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する「学習の個性化」も必要である。

「学習の個性化」は個々の児童生徒の興味・関心等に応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げることがを意味し、その中で児童生徒自身が自らどのような方向性で学習を進めていったら良いかを考えていくことなども含みます。例えば、情報の探索、データの処理や視覚化、レポートの作成や情報発信といった活動にICTを効果的に使うことで、学びの質が高まり、深い学びにつながっていくことが期待されます。また、児童生徒がこれまでの経験を振り返ったり、これからのキャリアを見通したりしながら、自ら適切に学習課題を設定し、取り組んでいけるよう、教師による指導を工夫していくことが重要です。

探究において

『課題の設定、情報の収集、
整理・分析、まとめ・表現』
を行う

👉 時間がかかるのでコンパクト化のためのツールが必須

興味・関心を「生かす」のではなく、興味・関心を「育てる」

個別最適な学び

・指導の個別化

全ての子供に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を育成するためには、教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「指導の個別化」が必要である。

「指導の個別化」は一定の目標を全ての児童生徒が達成することを目指し、個々の児童生徒に応じて異なる方法等で学習を進めることであり、その中で児童生徒自身が自らの特徴やどのように学習を進めることが効果的であるかを学んでいくことなども含みます。ICTを活用することで得られる新たなデータも活用し、きめ細かく学習の状況を把握・分析したり、個々の児童生徒に合った多様な方法で学んだりしていくことで、確実な資質・能力の育成につながっていくことが期待されます。また、学習履歴（スタディ・ログ）、生活・健康面の記録（ライフログ）等、児童生徒に関する様々なデータを可視化し、学習方法等を提案するツールなど、新たな情報手段の活用も考えられますが、そのような新たな情報手段の活用も含め、児童生徒が自らの状態を様々なデータも活用しながら把握し、自らに合った学習の進め方を考えることができるよう、教師による指導を工夫していくことが重要です。

学習履歴（スタディ・ログ）、生活・健康面の記録（ライフログ）を活用して、

『重点的な指導』

『指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定』

👉 複線化のためのツールが必須

従来の「個に応じた指導」の延長として平板に捉えるのではなく、これまでの研究や実践に基づいた理念と方法論に取り組む

協働的な学び

探究的な学習や体験活動などを通じ、子供同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要である。

ICTの活用により、児童生徒一人一人が自分のペースを大事にしながら共同で作成・編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動など、「協働的な学び」もまた発展させることができます。ICTを利用して空間的・時間的制約を緩和することによって、遠隔地の専門家とつないだ授業や他の学校・地域や海外との交流など、今までできなかった学習活動も可能となります。

探究的な学習や体験活動など
を通じ、多様な他者と協働し
ながら（略）

👉 共同で作成・編集等を行う
活動や、多様な意見を共有し
つつ合意形成を図るためのツ
ールが必須

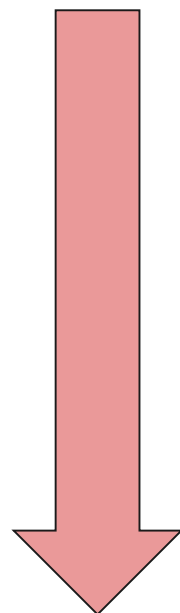


授業改革

02

- 主体的な学び
- 対話的な学び
- 深い学び

 資質・能力の育成



	教育学的授業類型	獲得するもの	3 類型
鍛える授業	【①】教師主導の講義・実習・習熟型授業	基礎的・基本的な知識・技能	習得型
	【②】教師主導の課題解決学習 (学習課題・追究方法とも教師が) Project Based Learning, ジグソー学習	知識・技能の基本的活用モデル	活用型
自ら学ぶ授業	【③】児童生徒主体の課題解決学習 (学習課題は教師が) (追究方法は児童生徒が)	問題解決能力 (読解力, 思考力, 判断力, 表現力, 価値観 等)	
	【④】問題発見・解決学習 (学習問題, 追究方法とも児童生徒が) Problem Solving Learning, 優れた PBL	問題発見能力 問題解決能力	探究型

【出所：鳴門教育大学教員養成 DX 推進機構長 大学院学校教育研究科特命教授 藤村裕一（2008）】

現行授業キーワード

○ 個別最適な学び ・ 学習の個性化 ・ 指導の個別化 ○ 協働的な学び	○ 活動の複線化 ○ 学級・学年交流 ○ 教室以外 ○ 教科等横断・探究・STEAM	○ デジタルトランスフォーメーション ○ ICT 利活用 ○ データ活用
---	---	--

GoogleWorkspace実践講座

児童生徒によるGoogleWorkspace の授業での活用

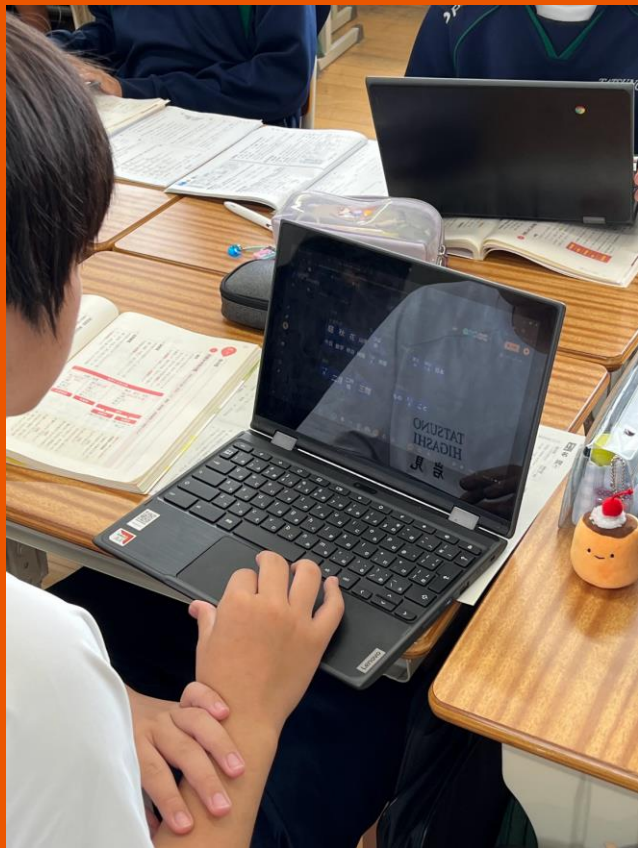
2024.06.27

龍野東中学校 教頭 杉山誠人



龍野東中学校
ホームページ

①学習指導 授業改革



生徒による
ICT利活用

教科書、ノート
タブレット

文房具です

①文房具

◎タブレットは教科書や筆記用具と同じく文房具です。

◎朝来たら取り出し、1日ずっと使います。

登校から下校まで基本常に持たせましょう。

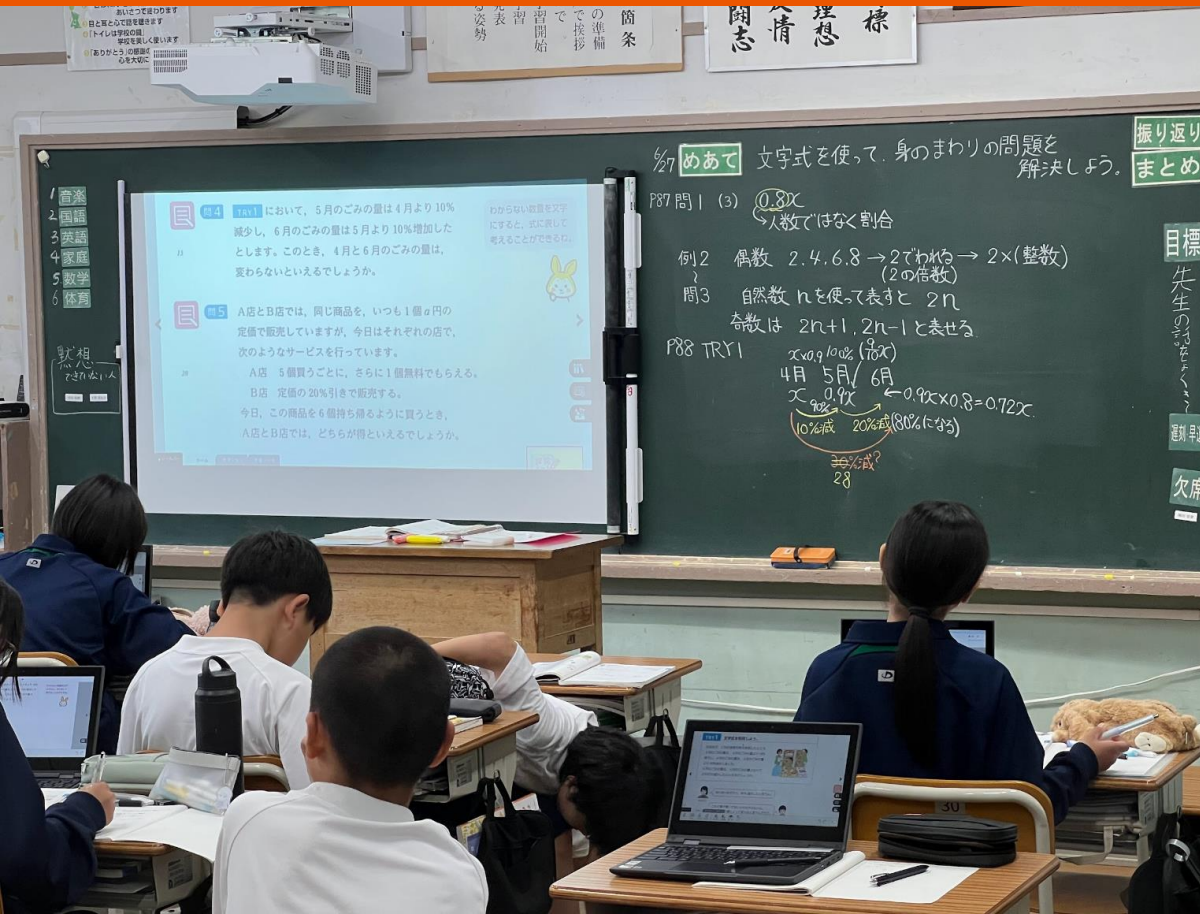
◎ルールで縛り過ぎず、自分で考えて使用できるようにしましょう。

◎もちろん毎日持ち帰り。

家にログインできるデバイスがあるなら学校で充電保管。

- ・ GoogleWorkspace ・ デジタル教科書 ・ AIドリル
- ・ ブックマーク ・ パスワード

①学習指導 授業改革



教師による
ICT活用

説明の
コンパクト化

②コンパクト化と共有 スライド

教師



◎説明のコンパクト化

◎Google スライドでもドキュメントでも何でもOK

◎黒板に書くより断然早い（黒板も優秀なデバイス）

◎生成AIにベースを作らせると時短（英語版はGemini for Google Workspaceが実装）

（例）《2024年版》AIで資料作成を自動化！スライド生成AIツール14選の使い方を徹底比較

②コンパクト化と共有 クラスルーム 両方

◎作成したファイルは児童生徒に共有

◎生徒・児童向け機能



- ・課題の確認・提出: Google Classroom上で事前に課題を確認し、ファイルを添付して提出することができます。
- ・フィードバック・成績確認: 提出した課題への先生からのフィードバックや採点結果を確認できます。
- ・コミュニケーション: ストリーム（掲示板）やメールを使って、先生やクラスメートと質問や情報共有ができます。

②コンパクト化と共有 クラスルーム 両方

◎教師向け機能



- ・ クラス・課題の作成・管理: クラスを作成し、課題を作成・配布・管理できます。
- ・ 資料の追加: 課題にYouTube動画やGoogleフォームのアンケートなどの資料を追加できます。
- ・ リアルタイムフィードバック: 生徒が提出した課題にリアルタイムでフィードバックを提供できます。
- ・ お知らせ・ディスカッション: お知らせを投稿したり、生徒からの質問を元にディスカッションを開始したりできます。

②コンパクト化と共有 Meet

両方 ≡



◎オンライン授業の流れ

- ①授業に参加: 生徒はクラスルームからリンクをクリックして授業に参加。
- ②授業の実施: 先生は画面共有や資料提示などを活用して授業を行います。生徒はチャットや挙手機能を使って質問や発言ができます。
- ③授業の終了: 授業終了後、録画した授業動画を生徒と共有することも可能です。

②コンパクト化と共有 Meet



- ・ Google Classroomとの連携: Google Classroomと連携することで、授業への参加、課題の配布・提出などをスムーズに行えます。
- ・ 教室外でオンライン授業を受けている児童生徒の服装や背景が映りこまない配慮が必要です。
- ・ 録画したデータの取り扱いへの注意が必要です。

②コンパクト化と共有 ドライブ



◎作成したファイルは教師にも共有

- ・ 時短のため、職員共有の財産にしましょう。
- ・ 整理整頓とか堅苦しいことは言わずに共有フォルダにどんどん入れてもらいましょう。「検索」の活用。
- ・ どこからでもアクセス可能: インターネット環境があれば、パソコン、スマホ、タブレットなど、どのデバイスからでもプラットフォームの垣根なくファイルにアクセスできます。

②コンパクト化と共有 ドライブ



- ・ 自動保存: ファイルの編集内容は自動的に保存されるため、データ消失の心配がありません。
- ・ 共有が簡単: ファイルやフォルダを特定の人と共有したり、URLを知っている人全員と共有したりできます。
- ・ 共同編集: 複数のユーザーが同時に同じファイルを編集できます。
- ・ Google Workspaceとの連携: Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドなどのGoogle Workspaceアプリと連携して、ファイルの作成・編集がスムーズに行えます。

②コンパクト化と共有 サイト 児童生徒

生徒にとってのメリット



◎見やすいレイアウト: Googleサイトはレスポンシブデザインに対応しており、デバイスの画面サイズに合わせて自動的にレイアウトが調整されるため、**見やすい**状態で情報を確認できます。

◎情報の**一元管理**: 授業に関する資料、課題、お知らせなどが一つのサイトにまとまっているため、情報を探す手間が省けます。

◎インタラクティブなコンテンツ: 動画や画像、クイズなどを埋め込むことで、より楽しく学習できます。

②コンパクト化と共有 サイト

教師

教師にとってのメリット1



◎簡単に作成・更新: 専門知識がなくても、直感的な操作でサイトを作成・更新できます。

◎情報共有がスムーズ: 授業資料や課題などを一括で共有できるため、**配布の手間が省けます**。

◎**リアルタイム**での更新: 授業中にサイトを更新することで、生徒に最新情報をすぐに伝えることができます。

②コンパクト化と共有 サイト

教師



教師にとってのメリット2

◎Google Workspaceとの連携: Google ClassroomやGoogleドライブと**連携**させることで、課題の提出やフィードバックを効率的に行えます。

◎**アクセス制限**: 特定のユーザーのみ閲覧できるように設定できるため、クラス限定の情報共有に便利です。

②コンパクト化と共有 Chat

1. コミュニケーションの活性化

- ◎リアルタイムでの質疑応答: 授業中や授業後、生徒が気軽に発表・質問できる環境を提供できます。先生は個別に回答したり、全員に共有したりと柔軟に対応できます。
- ◎グループでのディスカッション: グループチャット機能を活用することで、生徒同士が意見交換や情報共有を行い、主体的な学習を促進できます。
- ◎授業外コミュニケーション: 授業時間外でも、生徒が質問したり、先生から課題のヒントや追加情報を提供したりできます。



②コンパクト化と共有 Chat

2. 情報共有の効率化

- ◎資料の共有: 授業資料や参考資料をGoogle Chatで共有することで、生徒はいつでもどこでもアクセスできます。紙の資料の配布の手間を省き、環境にも配慮できます。
- ◎課題の提出: 生徒はGoogle Chat上で課題を提出できるため、提出忘れを防ぎ、効率的な回収・管理が可能です。
- ◎お知らせの一斉送信: 授業の変更や課題の締め切りなど、重要な情報を生徒全員に一斉に通知できます。



②コンパクト化と共有 Chat

両方 ≡

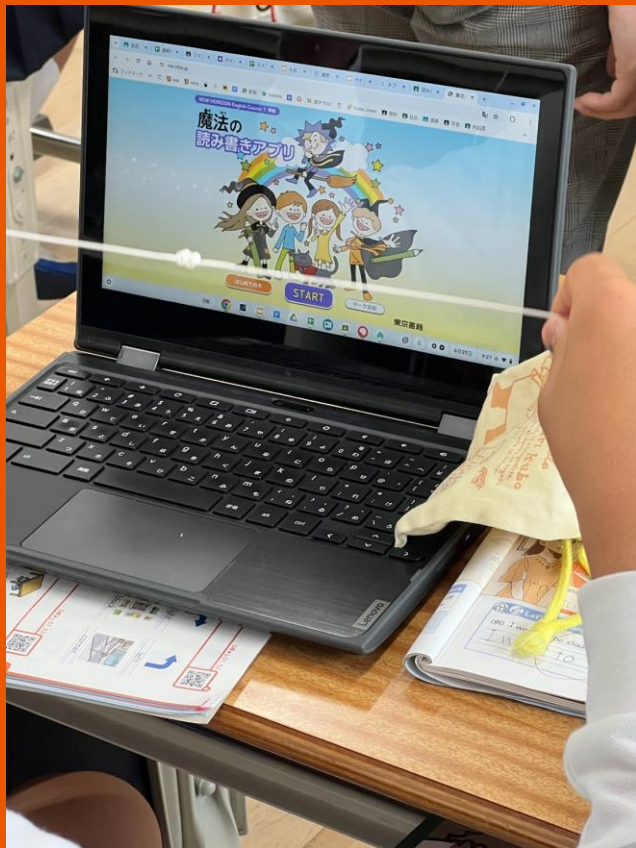
3. 学習履歴の記録



◎チャット履歴の保存: Google Chatでのやり取りは自動的に保存されるため、児童生徒・教師は過去の質問や回答を振り返ることができます。

◎学習状況の把握: 先生は生徒の質問内容や発言頻度などから、個々の理解度や学習状況を把握できます。

①学習指導 授業改革



デジタル教科書

拡大
ネイティブ

①学習指導 授業改革



複線化

様々な学習形態が同時に進行

③複線化



複線型の授業とは、生徒一人ひとりの興味や関心、学習進度に合わせて、それぞれ異なる学習目標を設定し、多様な学習活動を展開する授業形態です。Google Chatはこのような複線型の授業を効果的にサポートするためのツールとして、以下のメリットがあります。

③複線化

1. 個別指導の充実

- 個別の質問対応: 生徒は個別に先生に質問を送ることができるため、自分のペースで疑問点を解消できます。先生も個々の生徒の理解度に合わせて、きめ細やかな指導ができます。
- 学習進捗の共有: 生徒は自分の学習進捗や課題の状況を先生に報告できます。先生は個々の生徒の状況を把握し、適切なアドバイスやサポートを提供できます。

③複線化

2. 協働学習の促進

- グループチャット機能: グループチャット機能を活用することで、生徒同士が意見交換や情報共有を行い、互いに学びを深めることができます。
- 共同編集機能: Google ドキュメントなどのファイルを共有し、共同編集することで、協働的な課題解決能力を育むことができます。

③複線化

3. 学習意欲の向上

- いつでもどこでもアクセス可能: 生徒は自分の好きなタイミングでGoogle Chatにアクセスし、学習を進めることができます。
- 双方向のコミュニケーション: 先生やクラスメートとのコミュニケーションを通して、学習意欲を高めることができます。
- 多様な表現方法: テキストだけでなく、画像や動画、音声メッセージなどを活用することで、自分の考えを多様な方法で表現できます。

①学習指導 授業改革



進捗状況可視化

スプレッドシート
WinBird

見取りとサポート

氏名	ゲーム名	進捗状況	完了日
1. 井定雄斗	ドラゴンクエスト	★★★★★	2023/10/10
2. 伊豆原 遥	ひよこを助ける	★★★★★	2023/10/10
3. 今野 和子	さくらんぼ	★★★★★	2023/10/10
4. 藤田 優	ピンポン	★★★★★	2023/10/10
5. 大崎 りな		★★★★★	2023/10/10
6. 沖野 佳奈		★★★★★	2023/10/10
7. 川口 隼		★★★★★	2023/10/10



④進捗状況可視化



1. 情報の一元管理と共有

- 一覧性の向上: 生徒全体の進捗状況を**一覧で確認**でき、課題の提出状況や理解度などを把握しやすくなります。
- リアルタイムでの更新: スプレッドシートはオンライン上で共有できるため、生徒の進捗状況をリアルタイムで更新・確認できます。
- 共有の容易性: スプレッドシートのURLを共有するだけで、他の先生や関係者と情報共有がスムーズに行えます。

④進捗状況可視化



2. 個別指導の充実

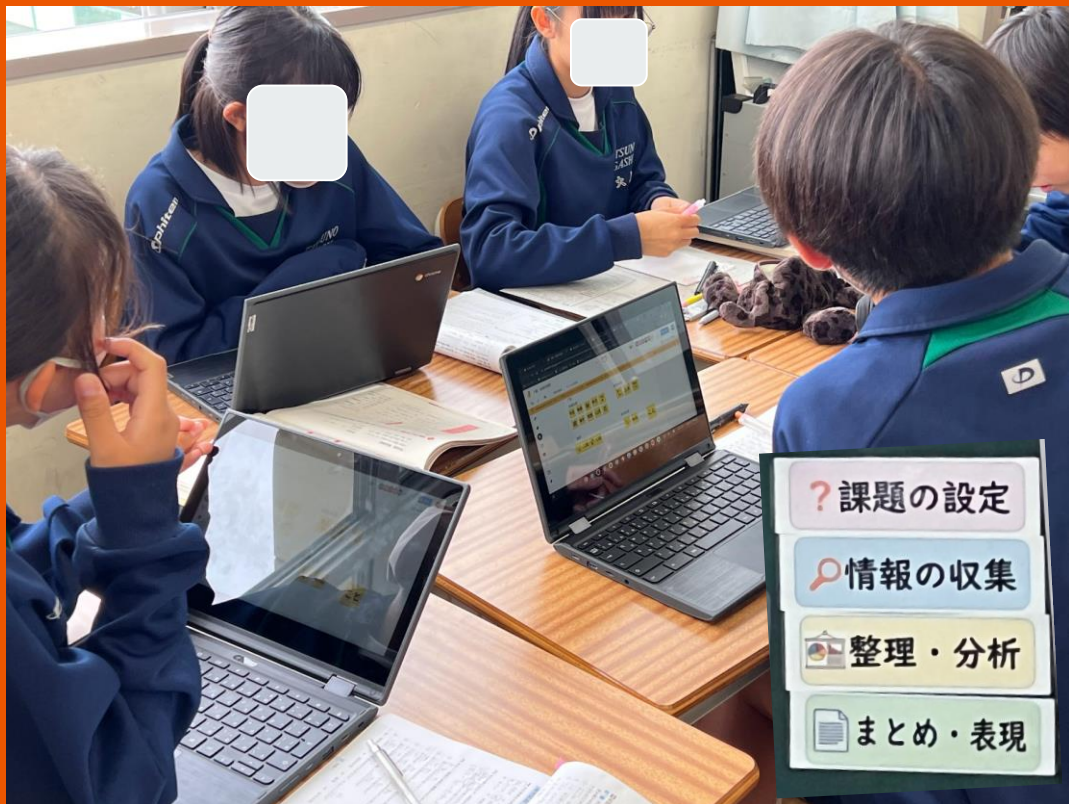
- 生徒ごとの進捗状況の把握: スプレッドシートで生徒一人ひとりの進捗状況を**細かく記録**することで、個別の課題や理解度に応じた指導ができます。
- 目標設定と振り返り: 生徒と一緒にスプレッドシートを見ながら目標を設定したり、進捗状況を振り返ったりすることで、主体的な学習を促せます。

①学習指導 授業改革



探究学習

タブレットを使えば
1コマの授業内で
完結



④進捗状況可視化



例えばこのようなスプレッドシート。

以下のリンクをGoogleMeetでメッセージ配信します。

いろいろ入力して試してください。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1ByWmIgV8ete89nuVo9Q_jPH48BeYx4n8bZvai561Kog/edit?usp=sharing

①学習指導 授業改革



学習したことの表現

情報の構造化

Jam（2024年10月1日まで），
スライド，Figjamなど

⑤情報の構造化

1. **視覚的な表現**: Jamboardは、テキスト、図形、画像、付箋などを自由に配置できるため、情報を視覚的に整理し、構造化することができます。これにより、複雑な情報をシンプルに表現し、理解を深めることができます。
2. **リアルタイムでの共同編集**: Jamboardは、複数のユーザーが同時に編集できるため、授業中に生徒全員でアイデアを出し合い、情報を整理することができます。これにより、活発な議論を促し、共同作業を通して理解を深めることができます。

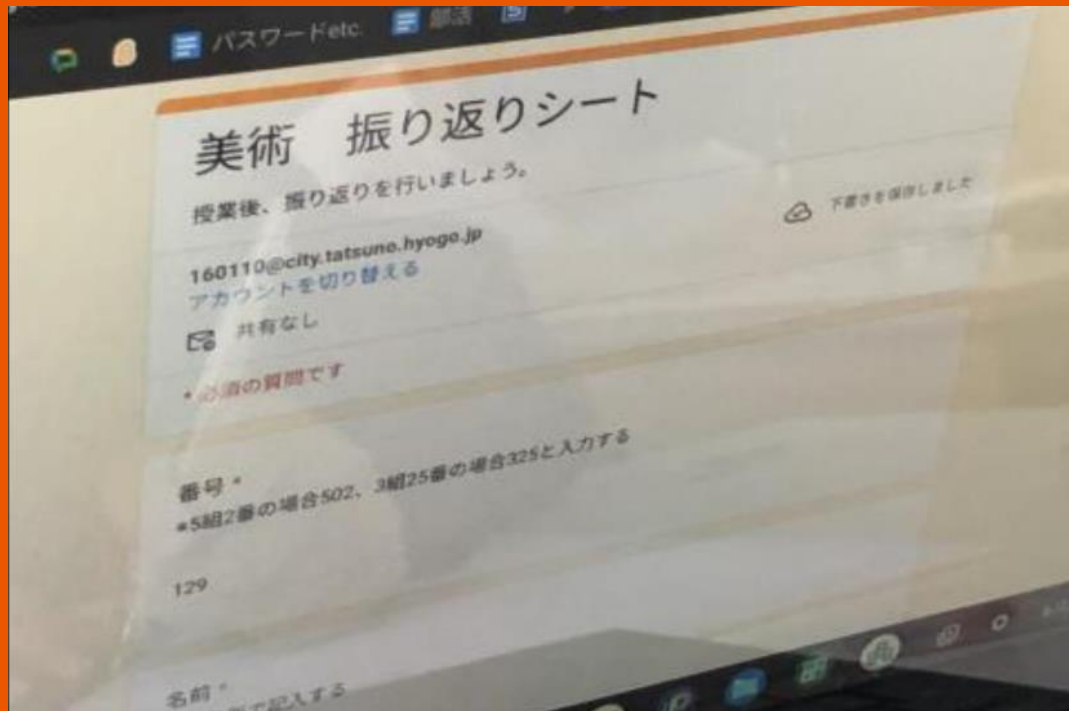
⑤情報の構造化



Jamboardの代わりになりそうなツール

- ふきだしくん <https://477.jp/>
- Canva https://www.canva.com/ja_jp/presentations/
- Miro <https://miro.com/ja/>
- FigJam <https://www.figma.com/ja-jp/figjam/>
- Googleスライド

①学習指導 授業改革



事前アンケートや
振り返り、テストで
も

デジタルで
収集・共有・分析

⑥収集・共有・分析



Google forms

生徒にとってのメリット

- 回答しやすい: **直感的**なインターフェースで、簡単に回答できます。
- フィードバックが早い: 回答後すぐに**自動採点**されるため、自分の理解度をすぐに確認できます。
- 匿名での回答: **匿名**で回答できるため、質問や意見を気兼ねなく伝えられます。

⑥収集・共有・分析

教師にとってのメリット①



- 簡単に作成・配布: 直感的な操作でフォームを作成でき、Google Classroomやメールで簡単に配布できます。
- 自動採点・集計: 選択式問題や数値入力問題は自動採点され、回答結果は自動で集計・グラフ化されるため、採点や分析の手間が省けます。
- 多様な質問形式: 選択式、記述式、スケール、チェックボックスなど、多様な質問形式に対応しており、様々な形式のアンケートや小テストを作成できます。

⑥収集・共有・分析



教師にとってのメリット②

- 回答状況の確認: リアルタイムで回答状況を確認できるため、授業の進め方や課題の難易度調整に役立ちます。
- フィードバックの効率化: 個別または全体へのフィードバックを効率的に行えます。



授業改革をより効果的にす るために ①学習指導

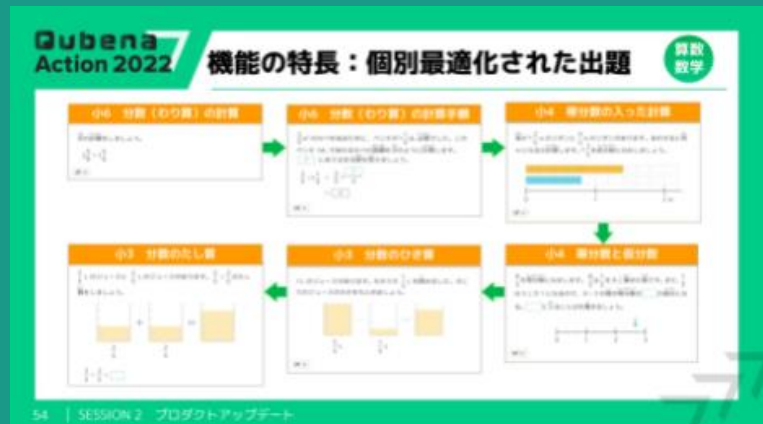
グランドデザイン ・カリキュラムマップ

教科横断的 可視化

A		B		C		D		E		F		G		H		I		J		K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T		U		V		W		X		Y		Z		AA		AB		AC		AD		AE		AF		AG		AH		AI		AJ		AK		AL		AM		AN		AO		AP		AQ		AR		AS		AT		AU		AV		AW		AX		AY		AZ		BA		BB		BC		BD		BE		BF		BG		BH		BI		BJ		BK		BL		BM		BN		BO		BP		BQ		BR		BS		BT		BU		BV		BW		BX		BY		BZ		CA		CB		CC		CD		CE		CF		CG		CH		CI		CJ		CK		CL		CM		CN		CO		CP		CQ		CR		CS		CT		CU		CV		CW		CX		CY		CZ		DA		DB		DC		DD		DE		DF		DG		DH		DI		DJ		DK		DL		DM		DN		DO		DP		DQ		DR		DS		DT		DU		DV		DW		DX		DY		DZ		EA		EB		EC		ED		EE		EF		EG		EH		EI		EJ		EK		EL		EM		EN		EO		EP		EQ		ER		ES		ET		EU		EV		EW		EX		EY		EZ		FA		FB		FC		FD		FE		FF		FG		FH		FI		FJ		FK		FL		FM		FN		FO		FP		FQ		FR		FS		FT		FU		FV		FW		FX		FY		FZ		GA		GB		GC		GD		GE		GF		GG		GH		GI		GJ		GK		GL		GM		GN		GO		GP		GQ		GR		GS		GT		GU		GV		GW		GX		GY		GZ		HA		HB		HC		HD		HE		HF		HG		HH		HI		HJ		HK		HL		HM		HN		HO		HP		HQ		HR		HS		HT		HU		HV		HW		HX		HY		HZ		IA		IB		IC		ID		IE		IF		IG		IH		IJ		IK		IL		IM		IN		IO		IP		IQ		IR		IS		IT		IU		IV		IW		IX		IY		IZ		JA		JB		JC		JD		JE		JF		JG		JH		JI		JJ		JK		JL		JM		JN		JO		JP		JQ		JR		JS		JT		JU		JV		JW		JX		JY		JZ		KA		KB		KC		KD		KE		KF		KG		KH		KI		KJ		KK		KL		KM		KN		KO		KP		KQ		KR		KS		KT		KU		KV		KW		KX		KY		KZ		LA		LB		LC		LD		LE		LF		LG		LH		LI		LJ		LK		LM		LN		LO		LP		LQ		LR		LS		LT		LU		LV		LW		LX		LY		LZ		MA		MB		MC		MD		ME		MF		MG		MH		MI		MJ		MK		ML		MM		MN		MO		MP		MQ		MR		MS		MT		MU		MV		MW		MX		MY		MZ		NA		NB		NC		ND		NE		NF		NG		NH		NI		NJ		NK		NL		NM		NN		NO		NP		NQ		NR		NS		NT		NU		NV		NW		NX		NY		NZ		OA		OB		OC		OD		OE		OF		OG		OH		OI		OJ		OK		OL		OM		ON		OO	
A		B		C		D		E		F		G		H		I		J		K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T		U		V		W		X		Y		Z		AA		AB		AC		AD		AE		AF		AG		AH		AI		AJ		AK		AL		AM		AN		AO		AP		AQ		AR		AS		AT		AU		AV		AW		AX		AY		AZ		BA		BB		BC		BD		BE		BF		BG		BH		BI		BJ		BK		BL		BM		BN		BO		BP		BQ		BR		BS		BT		BU		BV		BW		BX		BY		BZ		CA		CB		CC		CD		CE		CF		CG		CH		CI		CJ		CK		CL		CM		CN		CO		CP		CQ		CR		CS		CT		CU		CV		CW		CX		CY		CZ		DA		DB		DC		DD		DE		DF		DG		DH		DI		DJ		DK		DL		DM		DN		DO		DP		DQ		DR		DS		DT		DU		DV		DW		DX		DY		DZ		EA		EB		EC		ED		EE		EF		EG		EH		EI		EJ		EK		EL		EM		EN		EO		EP		EQ		ER		ES		ET		EU		EV		EW		EX		EY		EZ		FA		FB		FC		FD		FE		FF		FG		FH		FI		FJ		FK		FL		FM		FN		FO		FP		FQ		FR		FS		FT		FU		FV		FW		FX		FY		FZ		GA		GB		GC		GD		GE		GF		GG		GH		GI		GJ		GK		GL		GM		GN		GO		GP		GQ		GR		GS		GT		GU		GV		GW		GX		GY		GZ		HA		HB		HC		HD		HE		HF		HG		HH		HI		HJ		HK		HL		HM		HN		HO		HP		HQ		HR		HS		HT		HU		HV		HW		HX		HY		HZ		IA		IB		IC		ID		IE		IF		IG		IH		IJ		IK		IL		IM		IN		IO		IP		IQ		IR		IS		IT		IU		IV		IW		IX		IY		IZ		JA		JB		JC		JD		JE		JF		JG		JH		JI		JJ		JK		JL		JM		JN		JO		JP		JQ		JR		JS		JT		JU		JV		JW		JX		JY		JZ		KA		KB		KC		KD		KE		KF		KG		KH		KI		KJ		KK		KL		KM		KN		KO		KP		KQ		KR		KS		KT		KU		KV		KW		KX		KY		KZ		LA		LB		LC		LD		LE		LF		LG		LH		LI		LJ		LK		LM		LN		LO		LP		LQ		LR		LS		LT		LU		LV		LW		LX		LY		LZ		MA		MB		MC		MD		ME		MF		MG		MH		MI		MJ		MK		ML		MM		MN		MO		MP		MQ		MR		MS		MT		MU		MV		MW		MX		MY		MZ		NA		NB		NC		ND		NE		NF		NG		NH		NI		NJ		NK		NL		NM		NN		NO		NP		NQ		NR		NS		NT		NU		NV		NW		NX		NY		NZ		OA		OB		OC		OD		OE		OF		OG		OH		OI		OJ		OK		OL		OM		ON		OO	
A		B		C		D		E		F		G		H		I		J		K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T		U		V		W		X		Y		Z		AA		AB		AC		AD		AE		AF		AG		AH		AI		AJ		AK		AL		AM		AN		AO		AP		AQ		AR		AS		AT		AU		AV		AW		AX		AY		AZ		BA		BB		BC		BD		BE		BF		BG		BH		BI		BJ		BK		BL		BM		BN		BO		BP		BQ		BR		BS		BT		BU		BV		BW		BX		BY		BZ		CA		CB		CC		CD		CE		CF		CG		CH		CI		CJ		CK		CL		CM		CN		CO		CP		CQ		CR		CS		CT		CU		CV		CW		CX		CY		CZ		DA		DB		DC		DD		DE		DF		DG		DH		DI		DJ		DK		DL		DM		DN		DO		DP		DQ		DR		DS		DT		DU		DV		DW		DX		DY		DZ		EA		EB		EC		ED		EE		EF		EG		EH		EI		EJ		EK		EL		EM		EN		EO		EP		EQ		ER		ES		ET		EU		EV		EW		EX		EY		EZ		FA		FB		FC		FD		FE		FF		FG		FH		FI		FJ		FK		FL		FM		FN		FO		FP		FQ		FR		FS		FT		FU		FV		FW		FX		FY		FZ		GA		GB		GC		GD		GE		GF		GG		GH		GI		GJ		GK		GL		GM		GN		GO		GP		GQ		GR		GS		GT		GU		GV		GW		GX		GY		GZ		HA		HB		HC		HD		HE		HF		HG		HH		HI		HJ		HK		HL		HM		HN		HO		HP		HQ		HR		HS		HT		HU		HV		HW		HX		HY		HZ		IA		IB		IC		ID		IE		IF		IG		IH		IJ		IK		IL		IM		IN		IO		IP		IQ		IR		IS		IT		IU		IV		IW		IX		IY		IZ		JA		JB		JC		JD		JE		JF		JG		JH		JI		JJ		JK		JL		JM		JN		JO		JP		JQ		JR		JS		JT		JU		JV		JW		JX		JY		JZ		KA		KB		KC		KD		KE		KF		KG		KH		KI		KJ		KK		KL		KM		KN		KO		KP		KQ		KR		KS		KT		KU		KV		KW		KX		KY		KZ		LA		LB		LC		LD		LE		LF		LG		LH		LI		LJ		LK		LM		LN		LO		LP		LQ		LR		LS		LT		LU		LV		LW		LX		LY		LZ		MA		MB		MC		MD		ME		MF		MG		MH		MI		MJ		MK		ML		MM		MN		MO		MP		MQ		MR		MS		MT		MU		MV		MW		MX		MY		MZ		NA		NB		NC		ND		NE		NF		NG		NH		NI		NJ		NK		NL		NM		NN		NO		NP		NQ		NR		NS		NT		NU		NV		NW		NX		NY		NZ		OA		OB		OC		OD		OE		OF		OG		OH		OI		OJ		OK		OL		OM		ON		OO	
A		B		C		D		E		F		G		H		I		J		K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T		U		V		W		X		Y		Z		AA		AB		AC		AD		AE		AF		AG		AH		AI		AJ		AK		AL		AM		AN		AO		AP		AQ		AR		AS		AT		AU		AV		AW		AX		AY		AZ		BA		BB		BC		BD		BE		BF		BG		BH		BI		BJ		BK		BL		BM		BN		BO		BP		BQ		BR		BS		BT		BU		BV		BW		BX		BY		BZ		CA		CB		CC		CD		CE		CF		CG		CH		CI		CJ		CK		CL		CM		CN		CO		CP		CQ		CR		CS		CT		CU		CV		CW		CX		CY		CZ		DA		DB		DC		DD		DE		DF		DG		DH		DI		DJ		DK		DL		DM		DN		DO		DP		DQ		DR		DS		DT		DU		DV		DW		DX		DY		DZ		EA		EB		EC		ED		EE		EF		EG		EH		EI		EJ		EK		EL		EM		EN		EO		EP		EQ		ER		ES		ET		EU																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

理科	※年間指導計画と必ずリンクさせてください！！		関連する単元（○は学習計画月、連携は主題）		
	情報活用能力の要素分類	関連する学習内容例	1 年生	2 年生	3 年生
知識及び技能	1 情報の信頼性を評価し、活用する力の育成	①情報収集に関する技能 A-1) 情報の収集 A-2) 情報の整理と分類	②③身のまわりの現象 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑤身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑥身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑤身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑥身のまわりの現象と自然 (A-2)
	2 問題解決、探究における情報活用能力の育成	①情報の収集、整理、活用、発信、情報の活用 ②情報の活用に関する技能、必要となる情報の活用方法の活用	①身のまわりの現象 (A-2) ②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)
思考力、判断力、表現力等	情報収集、探究における情報活用能力の育成	①情報の収集、整理、活用、発信、情報の活用 ②情報の活用に関する技能、必要となる情報の活用方法の活用	②③身のまわりの現象 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)
	問題解決、探究における情報活用能力の育成	①情報の収集、整理、活用、発信、情報の活用 ②情報の活用に関する技能、必要となる情報の活用方法の活用	②③身のまわりの現象 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)
学びに向かう力、人間性等	情報収集、探究における情報活用能力の育成	①情報の収集、整理、活用、発信、情報の活用 ②情報の活用に関する技能、必要となる情報の活用方法の活用	②③身のまわりの現象 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)
	問題解決、探究における情報活用能力の育成	①情報の収集、整理、活用、発信、情報の活用 ②情報の活用に関する技能、必要となる情報の活用方法の活用	②③身のまわりの現象 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)	②③身のまわりのことと自然 (A-2) ④⑤⑥身のまわりの現象と自然 (A-2) ⑦⑧⑨身のまわりの現象と自然 (A-2)

学習指導 アダプティブラーニング



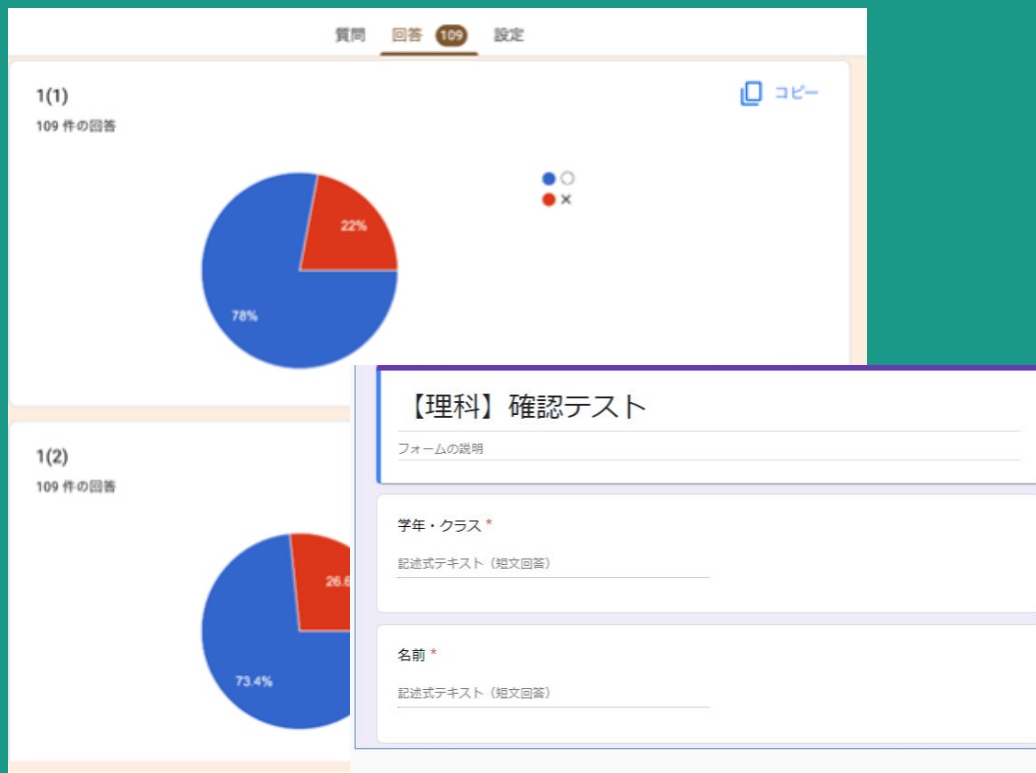
AIドリル

個別最適化
データ分析



学習指導

定期考査廃止



小範囲テストに切り替えました
これにより、生徒の学習のつまづきを早期に発見し、個別指導に繋がります

学習指導 課題改革



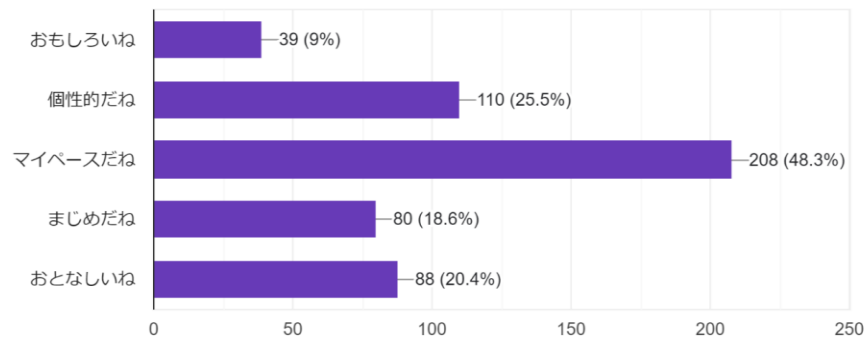
課題の数を減らすとともに、生徒自身が**学びたい内容**を課題として設定できるようにしました。
これにより、生徒の主体性や探究心を育みます。

授業改革をより効果的にす
るために ②情報教育

情報教育 情報モラル教育

スマホで友達とやり取りをしているときに、以下の中で一番嫌に感じるメッセージはなんですか？

431 件の回答



Google Meetを活用
して全校生徒を対象
に、情報モラル研修
を**定期的に**実施

情報教育

全校タイピング大会

第1回 龍野東中学校
全校タイピング大会
ダイジェスト

正確かつ
スピーディーに文字
を入力

文字入力の方法は
自由

内容;プログラミングツール「scratch」を用いたオリジナル製作品(ゲーム、映像作品、音楽など)

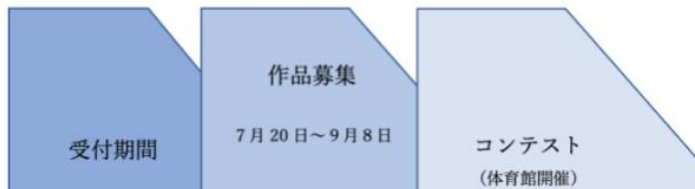
審査基準 ①発想力 ②表現力 ③技術力

審査員(一次審査);校長先生、教頭先生、石井先生、城田先生、志水先生、八幡先生
高田周平(三菱電機 研究員)
岡山将也(ZOZOTOWN エンジニア)

審査員(コンテスト);龍野東中学校の全生徒・先生

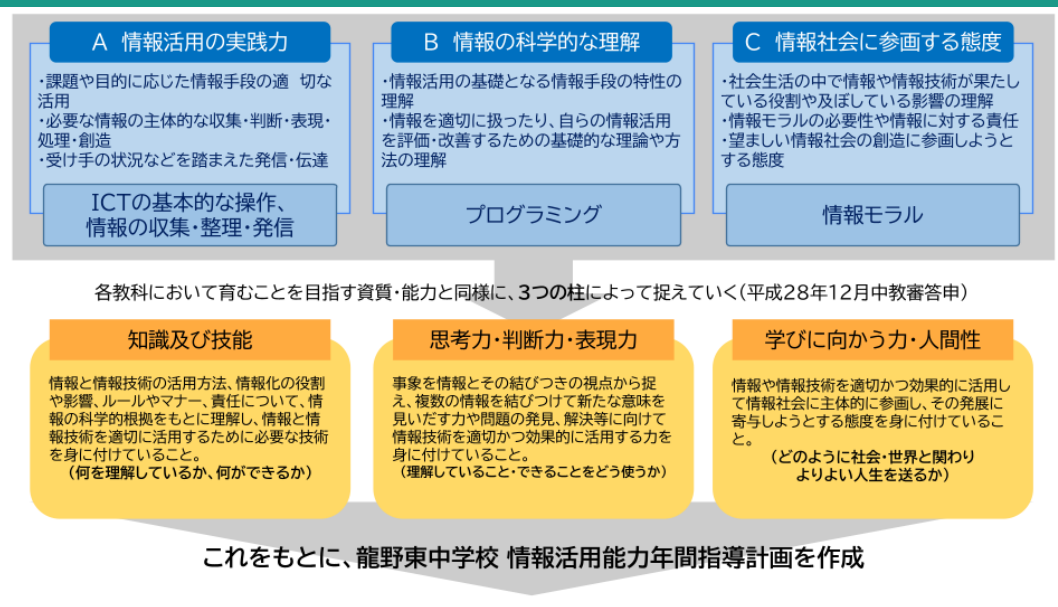
エントリー方法;google form
作品の提出;クラスルームで提出

スケジュール



生徒たちが自ら課題を設定し、Scratchを使ってソフトの開発を行っています。優秀作を全校生に披露し、プレゼンします。

情報教育 ICT利活用推進



Google Workspace

生徒の情報活用能力を育成

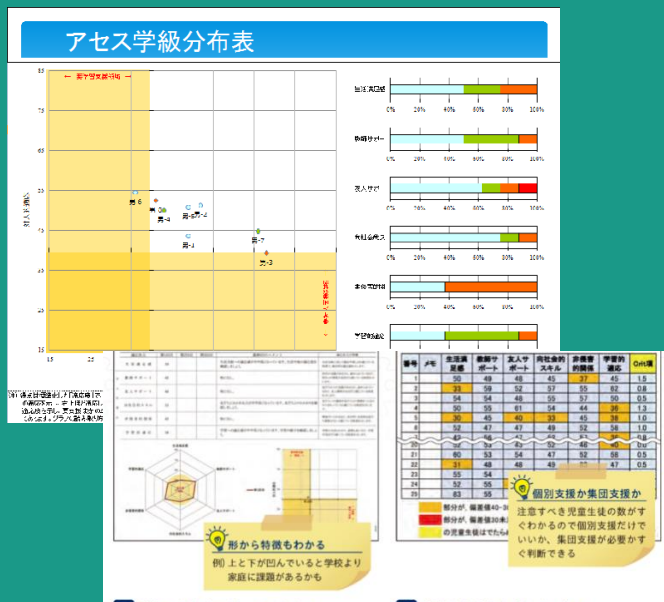
教職員のICT活用スキルを向上



授業改革をより効果的にするために

③生活指導,教育相談

生活指導,教育相談 心のケア



学校環境適応感調査 アセス

Googleフォーム

出所：アセス（学級全体と児童生徒個人のアセスメントソフト）の使い方・活かし方 自分のパソコン
で結果がすぐわかる』ほんの森出版 栗原慎二・井上弥 編著

ホームの回答 掲示板 掲示板交換① 掲示板交換② 全体の分析結果 2年生 2年生 1年生 ケース5

Google フォーム

生活指導,教育相談 心のケア

D	E	AL	AQ	AU	AV	AW	AX	AY	AZ	BA	BB	BC	BD
	前回の数値	計 ※30 以上で ストレスあり。 50以上は	反転項目 (ほか) 合計	欠席日数 (遅刻早退)						アセス	生徒の様子(困り感)	第1回スクリーニング 会議後の対応	第2回
				4月欠席	遅早	5月欠席	遅早	6月欠席	遅早	要注意			・対応した日付 ・支援方法 ・生徒の様子
泰雅	45	40	7	1		7	3	9	5	教師、非侵害計	休みが増えてきている。修学旅行にも行かない。(家庭連絡やアセス→「生活満足感」「非侵害の関係」「学習の適応」低。	5/31【学活の生活相談】	
信繁	65	0	0		1		3	1		未	1学期はじめは頑張って学校生活に体を慣らそうとす。アセス→全体的に低い。2年時目標行為。現在のクラス教師の対応の仕方、クラスでのからかい。(いじめ)。対アセス→「学習の適応」かなり低。「生活満足感」「教師サアセス→「生活満足感」「非侵害の関係」「学習の適応」低。	5/31【学活の生活相談】	
奈緒子	48	51	16	3	1	4		16	1	非侵害計	【継続的関わり】学校に来れた日は...両家からは体育のマット運動で、列ごとの練習で一人だには...		
杏奈	76	84	7						1	教師計	教師の対応の仕方、クラスでのからかい。(いじめ)。対アセス→「学習の適応」かなり低。「生活満足感」「教師サアセス→「生活満足感」「非侵害の関係」「学習の適応」低。		
真玲美	49	47	5					2			5/31保健室で(他住)電話...家庭訪問...		
連	68	57	9						1	教師計	5/31保健室で(他住)電話...家庭訪問...		
沙綾	79	76	8			2	2				友人(田中沙綾、牛丸)がいるので大丈夫です。		
麻樹	76	87	5					1	1	1	友人関係で悩んでいることはない。		
雪那	24	55	12					1		生活、非侵害計	佐喜真さんとの件もあり、私と話すことがスト...		
輝	46	46	9	2									

フォームの回答

ニデータ

ニデータ交換①

ニデータ交換②

ニデータ交換③

全体の分析結果

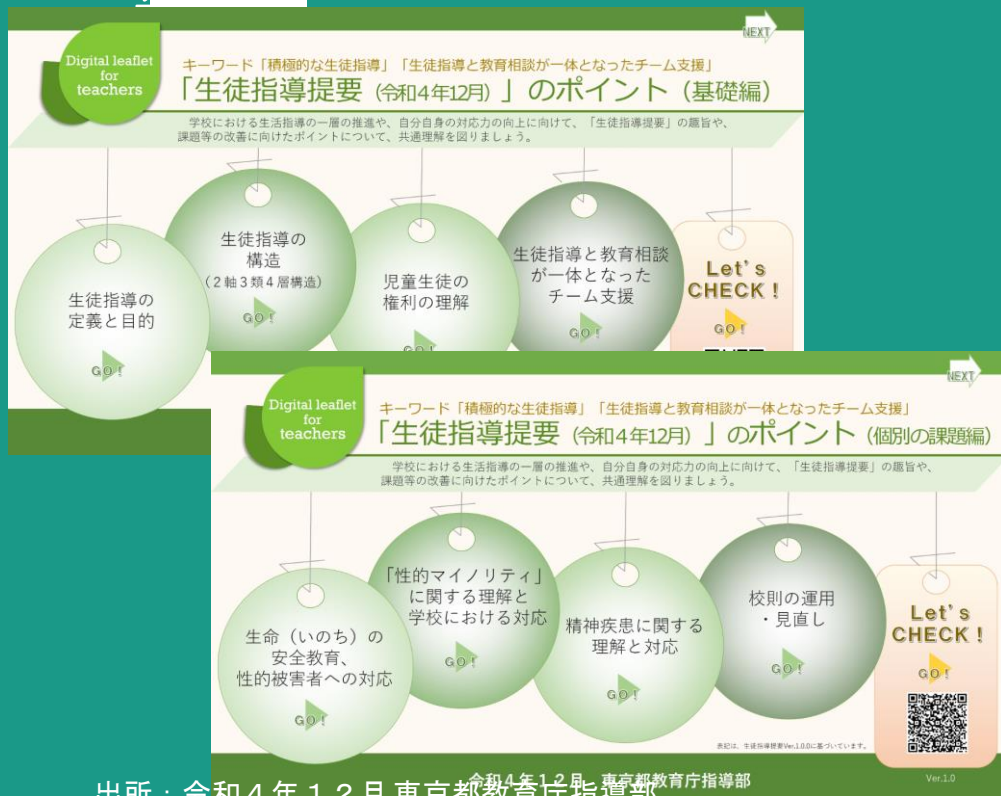
スクリーニング会議
【アセス・ストレス
チェック・欠席・遅
刻・早退・経験】

超早期発見

生活指導,教育相談

生徒指導提

西



自発的・主体的に成長や発達
する過程を支える教育活動

早期発見・未然防止

チームやパートナーシップ

マルチリートメント

ブラック校則

生活指導,教育相談 支援



複数担任制

家庭訪問AIドリル

LGBTQ+ 新制服・体操服

生活指導

職員室・教室



マルトリートメント対策

敬称

職員室と同じ風が
教室にも吹く



授業改革をより効果的にするために

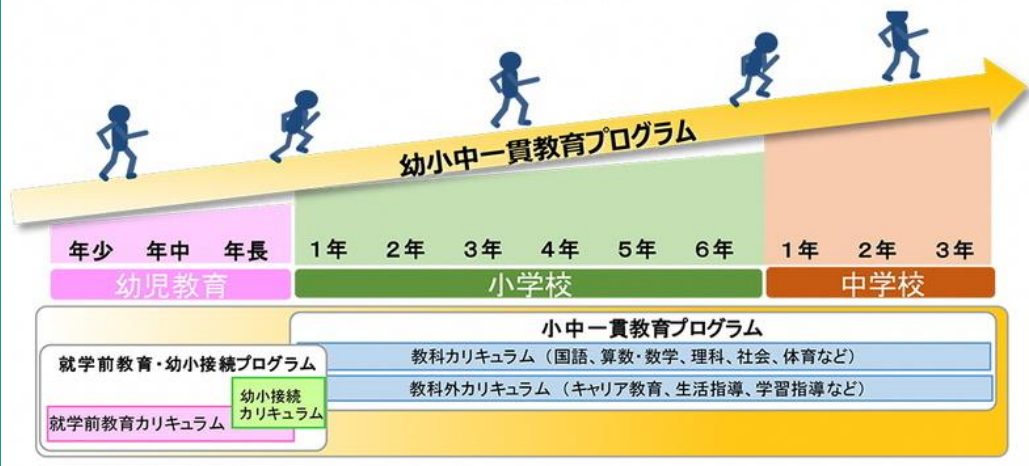
④小中一貫教育

小中一貫教育

--- 幼小中一貫教育プログラム ---

4つのカリキュラムで子どもたちの力を効果的に育成する

- ・「生活習慣」の定着
- ・「学びに向かう力」の育成
- ・「考える力（思考力・判断力・表現力等）」の育成
- ・「基礎学力」の定着
- ・「自己有用感・自己肯定感」の育成



グランドデザイン

カリキュラムマップ

中1ギャップ



小中一貫教育

兵庫型学習システムC型

週3日小宅小学校

小学6年生英語の授業を、中学校英語教師が行っています。





授業改革をより効果的に
するために

⑤職員研修

職員研修 資質向上



毎月1回以上

短時間研修

講師は教職員

(若手・ベテラン問わず)
⇒ 尊敬 感謝 関係改善

職員研修 年代別・異動別研修



若手：教育の基本中心
(スキルはできる)

ベテラン：ICTスキル重視
(基本事項は完璧)

外部人材活用



授業改革をより効果的にするために

⑥学校業務改善

学校業務改善 情報共有

	D	E	F	G	H	I
目標： 命を大切に、こころ豊かに自立する生徒の育成						※学校定年九社
0/0 完了	月曜日					0/5 完了
職員への連絡・確認事項						
記入者	保護	係	内容		※当日8:00までに記入	記入者
	☐	統計	職員総会8:00 新任者あいさつ たつの市総会10:00 新任者挨拶15:00 職員会後部活動委員会（回書室） 教科書は本日、調理室に届きます			清久
	☐		一席きました。原則から1年、2年、3年で置いてあります。 人数が入っている箱は机の上に載っています。			
	☐	部活動	部会の部活動委員会今日の職員会議後回書室で行いたいと思います。2年部活動委員会にしたいかと 思います。が委員会の人数が足りていないので、 よろしくお願ひします。時間についてはまだ お話しさせていただきます。タブレット持参でお願 ひします。			清野
	☐	情報	85年度 chromebook職員取り当て			八幡
	☐					
	☐					



日程表

Chat（各部、欠席、不在電話、サポートルーム、研修など各種スペース）

出席簿

ポータル（まとめ）

The screenshot shows the official website of the City of Tokyo. The header features the city's name in both Japanese (東京都) and English (City of Tokyo), along with navigation icons. The main content area is organized into a grid of service categories, including Education, Welfare, and Environment. A sidebar on the left provides a search bar and a list of links. The footer contains contact information and social media links.

学校業務改善 情報収集・分析

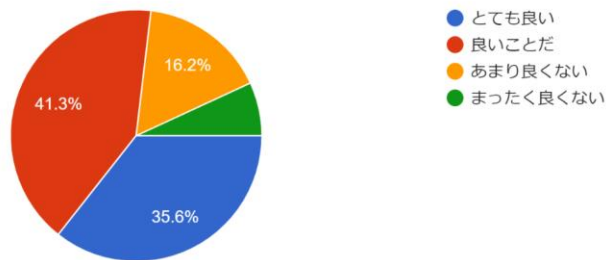
具体的な活用例（Googleforms ， calendar）

- 小テスト・アンケート: 授業の理解度確認や意見収集に。
- 宿題・課題の提出: 提出状況の管理やフィードバックに。
- 授業評価アンケート: 授業改善のための意見収集に。
- 保護者アンケート: 学校評価や学校への意見収集に。
- 参加申込フォーム: イベントや補習の参加者募集に。
- 参加申し込み: 個別懇談会の時間枠予約。

学校業務改善

時間の確保

今年度から実施した、部活動の年間時数を維持しながら、通年で17:00完全下校について
160件の回答



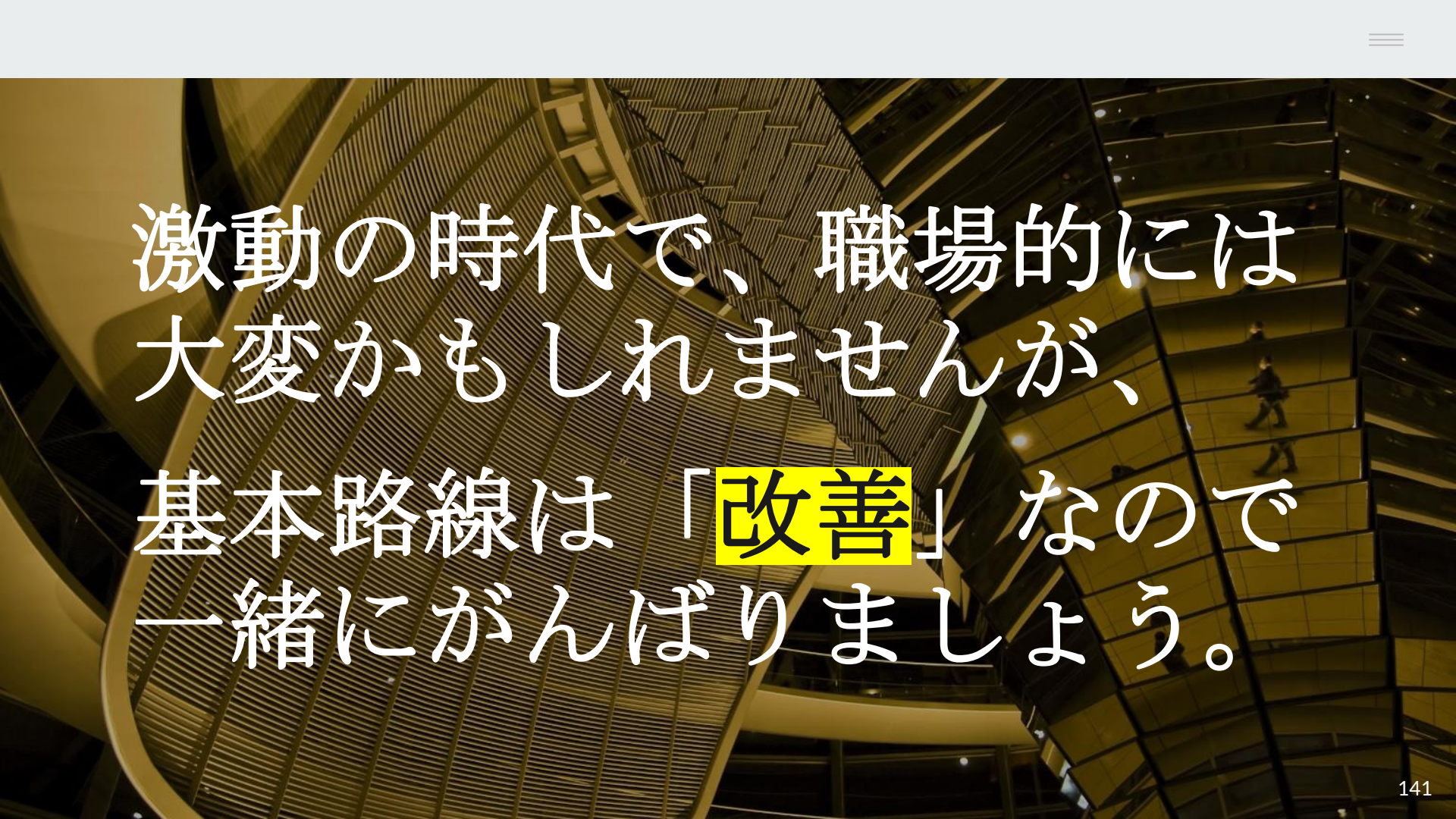
完全下校 17時

部活動指導員

時間と健康

得意分野を生かして
少しずつ**みんな**で
改善して
いくことが大切





激動の時代で、職場的には
大変かもしれませんが、
基本路線は「改善」なので
一緒にがんばりましょう。



ご清聴 ありがとう ございました



本資料は、著作物を引用して作成しています。
各著作物の引用箇所については、本文中で明示しています。

引用部分を除き、本資料の著作権は作者に帰属します。
本資料の一部または全部を無断で複製、転載、改変、再配布することを禁じます。
引用を行う場合は、著作権法の規定に従い、適宜の方法で出所を明示してください。